

特233-557

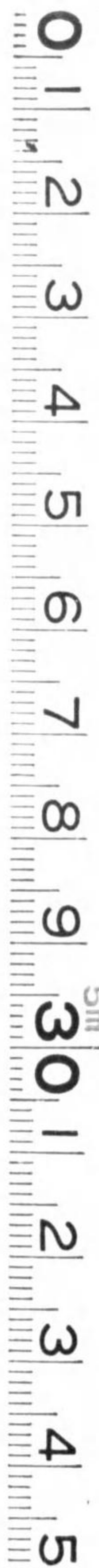


233

557

大阪高等學校一覽

自昭和八年四月
至昭和九年三月



始



特 233
557

大阪高等學校一覽

目次

○沿革略	一
○學年曆	八
○關係法令	一〇
一 文部省直轄諸學校官制(抄)	一〇
二 文部省直轄諸學校職員定員令(抄)	一三
三 高等學校令	一三
四 高等學校規程(抄)	一六
五 文部省直轄學校外國人特別入學規程	一七
六 高等學校高等科學力檢定規程	一七
○學則	一七
第一章 總則	一七
第二章 學年學期及休業	一八

第三章 學科課程及教授時數	四〇
第四章 入學、在學、休學及退學	四〇
第五章 學業成績考查	四三
第六章 授業材料	四三
第七章 寄宿寮	四四
○細則	四八
一 生徒心得	四七
二 學級主任	四九
三 指導主任	四九
四 生徒正副總代	五〇
五 服裝規程	五〇
六 學業成績考查細則	五三
七 轉科轉類細則	五八
八 卒業證書書式	五九
九 寮則	六〇
大 二 物品會計規程細則	六二
二 圖書取扱細則	六七

○評議員會規程	七〇
○學科主任規程	七〇
○校務分掌規程	七一
○文書處理規程	七一
○校旗規程	七七
○職員	七九
○生徒	七九
一 氏名	九三
二 生徒、入學志願者、入學者科別表	一一
三 生徒本籍別表	一一
四 生徒年齡表	一五
五 入學志願者、入學者學歷別表	一六
○卒業生	一七
一 卒業生	一七
二 卒業生各年科別表	一五
三 卒業生大學進入表	一六
○敷地及建物	一七

一 敷地調表……………一七一

二 建物一覽表……………一七三

三 建物用途別一覽表……………一七六

附圖 大阪高等學校略圖

○附 錄

一 大阪高等學校校友會規則……………一八五

二 大阪高等學校校友會會計規則……………一九一

三 大阪高等學校同窓會定款……………一九二

大阪高等學校一覽

(自昭和八年四月至同九年三月)

◇沿革略

大正十年

十一月 勅令第四百三十二號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制ヲ改正セラレ本校ヲ設置セラル

同 月 勅令第四百三十三號ヲ以テ本校職員定員ヲ定メラル(校長一人、教授九人書記四人)

同 月 文部省督學官兼文部省圖書監修官正五位勳四等野田義夫校長ニ任セラル

同 月 文部省内ニ於テ事務ヲ開始ス

大正十一年

一 月 事務所ヲ大阪府東成郡天王寺村本校内ニ移ス

- 三月 入學者選抜試験ヲ行フ
 - 大同月 文部大臣ノ許可ヲ受ケ本校學則ヲ制定ス
 - 四月 生徒二百人及支那人三人ノ入學ヲ許可ス
 - 同月 勅令第二百四號ヲ以テ本校職員定員ヲ改正セラル (教授九人ヲ十六人ニ)
 - 同月 生徒入學式ヲ舉行ス
 - 同月 授業ヲ開始ス
 - 五月 本校開校式ヲ舉行ス
 - 九月 文部大臣ノ認可ヲ受ケ物品會計規程細則ヲ制定ス
 - 同月 教育ニ關スル勅語謄本ヲ拜戴ス
 - 十月 天皇陛下 皇后陛下ノ御眞影竝 皇太子殿下ノ御影ヲ拜戴ス
- 大正十二年
- 四月 勅令第六十一號ヲ以テ本校職員定員ヲ改正セラル (教授十六人ヲ二十四人ニ、書記四人ヲ五人ニ、新ニ助教授二人ヲ加ヘラル)

- 十一月 文部大臣ノ許可ヲ受ケ本校學則中ヲ改正シ寄宿寮ノ制ヲ設ク
 - 同月 本校寄宿寮ヲ開寮ス
- 大正十三年
- 四月 勅令第九十八號ヲ以テ本校職員定員ヲ改正セラル (教授二十四人ヲ三十人ニ、助教授二人ヲ五人ニ、書記五人ヲ六人ニ)

- 大正十四年
- 三月 第一回卒業生百四十二人ニ卒業證書ヲ授與ス
 - 同月 文部大臣ノ許可ヲ受ケ本校學則中再入學及授業料ノ額ヲ改正ス
 - 四月 勅令第八十一號ヲ以テ本校職員定員ヲ改正セラル (助教授五人ヲ四人ニ)
 - 同月 本校所在地名ヲ大阪市住吉區天王寺町ト改稱セラル
 - 五月 校長野田義夫歐米各國へ出張ヲ命セラル
 - 同月 教授岩付環校長歐米各國へ出張不在中代理ヲ命セラル

大正十五年

二月 校長野田義夫歸朝ニ付教授岩付環校長代理ヲ免セラル
 三月 第二回卒業生百七十九人ニ卒業證書ヲ授與ス
 十二月 元號ヲ昭和ト改メラル

昭和二年

三月 第三回卒業生百七十一人ニ卒業證書ヲ授與ス
 同月 本校學則中休業日ヲ改正ス
 八月 本校長野田義夫依願免本官、高松高等商業學校長從四位勳三等限本繁吉本校長ニ任セラル

十二月 勅令第三百六十六號ヲ以テ本校職員定員ヲ改正セラル（新ニ助手一人ヲ加ヘラル）

昭和三年

三月 第四回卒業生百七十八人ニ卒業證書ヲ授與ス
 同月 文部大臣ノ許可ヲ受ケ本校學則中寄宿料納期ヲ改正ス

七月 文部大臣ノ許可ヲ受ケ本校學則中入學者選抜方法ヲ改正ス
 十月 天皇陛下 皇后陛下ノ御眞影ヲ拜戴ス
 同月 勅令第二百五十七號ヲ以テ本校職員定員ヲ改正セラル（新ニ生徒主事一人生徒主事補一人ヲ加ヘラル）

昭和四年

一月 教育ニ關スル御沙汰書謄本ヲ拜戴ス
 三月 第五回卒業生百七十七人ニ卒業證書ヲ授與ス
 同月 本校學則中授業料ノ額ヲ改正ス
 六月 六日 天皇陛下本校ニ行幸アラセラレ本校長ノ本校概況ノ奏上ヲ聞召サレ本校教官ノ學術研究品竝本校生徒ノ成績品及大阪府下各男女高等專門學校ノ陳列品大阪府下十一ノ各高等專門學校聯合ノ劍道野試合、リレー・レース、本校生徒ノ蹴球試合ヲ天覽アラセラレ了リテ參列員一同ノ萬歲三唱ヲ受ケサセラレ龍顏麗ハシク還幸遊ハサル

八月 本校所在地名ヲ大阪市住吉區王子町三丁目ト改稱セラル

昭和五年

二月 文部大臣ノ許可ヲ受ケ本校學則中春季及夏季休業期間并授業料及寄宿料納付期日ヲ改正ス

三月 第六回卒業生百八十四人ニ卒業證書ヲ授與ス

昭和六年

二月 天皇陛下 皇后陛下ノ御眞影ヲ奉還シ新ニ 天皇陛下 皇后陛下ノ御眞影ヲ拜戴ス

三月 第七回卒業生百八十人ニ卒業證書ヲ授與ス

昭和七年

三月 第八回卒業生百三十七人ニ卒業證書ヲ授與ス

五月 教育者ニ御下賜ノ勅語謄本ヲ拜戴ス

十二月 勅令第三百九十五號ヲ以テ本校職員定員ヲ改正セラル(助教授四人ヲ三人ニ、助手一人ヲ削除セラル)

昭和八年

三月 第九回卒業生百七十二人ニ卒業證書ヲ授與ス

七月 文部大臣ノ許可ヲ受ケ本校學則中授業料及寄宿料納付期日ヲ改正ス

關係法令

一、文部省直轄諸學校官制

(抄)

(明治二十六年八月
勅令第八十六號)

第一條 文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

大阪高等學校

(大正十年十一月
勅令第四百三十二號ヲ以テ改正)

(他校ハ略ス)

第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

教授

生徒主事

助教

書記

(昭和三年十月
勅令第二百五十六號ヲ以テ改正)

生徒主事補 (昭和三年十月
勅令第二百五十六號ヲ以テ改正)

前項職員ノ外文部省直轄諸學校職員定員令ノ定ムル所ニ依リ助手ヲ置クコトヲ得

(昭和二年十二月勅令第三百六十五號ヲ以テ改正)

第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督

ス (明治三十二年四月勅令第一百七十七號ヲ以テ改正)

第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル (明治三十二年
四月勅令第一百七十七號同四十年六月勅令第二百四十六號ヲ以テ改正)

第九條 文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事ノ專任定員ヲ配置シタル學校
ノ生徒主事ハ奏任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事ハ當該學校ノ奏任教官ノ中ヨリ文

部大臣之ヲ補ス

生徒主事ハ校長ノ命ヲ承ケ生徒ノ訓育ヲ掌ル (昭和三年十月勅令第二百五十六號ヲ以テ改

正)

第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス (明治三十六年十二月勅令

第二百三十號同四十年六月勅令第二百四十六號ヲ以テ改正

第十條ノ二 文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事補ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事補ハ判任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事補ハ當該學校ノ判任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ命ス

生徒主事補ハ上官ノ命ヲ承ケ生徒主事ノ職務ヲ助ク (昭和三年十月勅令第二百五十六號ヲ以テ改正)

第十條ノ三 助手ハ判任トス教授又ハ助教授ノ指揮ヲ承ケ授業及實驗ノ補助ニ從事ス (昭和三年十月勅令第二百五十六號ヲ以テ改正)

第十七條 專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

二、文部省直轄諸學校職員定員令

(抄) (明治三十五年三月勅令第九十九號)

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員左ノ如シ

大阪高等學校	校長	一人	教授	三十人	生徒主事	一人	助教	三人	書記	六人	生徒主事補	一人
--------	----	----	----	-----	------	----	----	----	----	----	-------	----

三、高等學校令

(大正七年十二月勅令第三百八十九號)

第一條 高等學校ハ男子ノ高等普通教育ヲ完成スルヲ以テ目的トシ特ニ國民道德ノ充實ニカムヘキモノトス

第二條 高等學校ハ官立、公立又ハ私立トス

第三條 高等學校ヲ設立スルコトヲ得ル公共團體ハ北海道及府縣トス

第四條 私立高等學校ハ財團法人タルコトヲ要ス但シ特別ノ必要ニ因リ學校經營ノ

ミヲ目的トスル財團法人カ其ノ事業トシテ之ヲ設立スル場合ハ此ノ限ニ在ラス
第五條 前條ノ財團法人ハ高等學校ニ必要ナル設備又ハ之ニ要スル資金及少クトモ
高等學校ヲ維持スルニ足ルヘキ收入ヲ生スル基本財産ヲ有スルコトヲ要ス但シ其
ノ基本財産ノ額ハ五拾萬圓ヲ下ルコトヲ得ス
基本財産中前項ニ該當スルモノハ現金又ハ國債證券其ノ他文部大臣ノ定ムル有價
證券トシ之ヲ供託スヘシ

第六條 公立及私立ノ高等學校ノ設立廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 高等學校ノ修業年限ハ七年トシ高等科三年尋常科四年トス

高等學校ハ高等科ノミヲ置クコトヲ得

第八條 高等學校高等科ヲ分チテ文科及理科トス

第九條 高等學校ニハ高等科ヲ卒リタル者ノ爲ニ專攻科ヲ置クコトヲ得其ノ修業年
限ハ一年トス

專攻科ヲ卒リタル者ハ得業士ト稱スルコトヲ得

專攻科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十條 高等學校ニハ特別ノ必要アル場合ニ於テ豫科ヲ置クコトヲ得但シ第七條第

二項ノ高等學校ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

高等學校豫科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十一條 高等學校尋常科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該學校豫科ヲ修了シタル者、

尋常小學校ヲ卒業シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力ア

リト認メラレタル者トス

第十二條 高等學校高等科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該學校尋常科ヲ修了シタル

者、中學校第四學年ヲ修了シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上

ノ學力アリト認メラレタル者トス

第十三條 高等學校ノ生徒定數ハ高等科四百八十人以内尋常科三百二十人以内トシ第

七條第二項ノ高等學校ニ在リテハ專攻科ヲ除キ六百人以上トス

第十四條 高等學校ニ於テハ同科同學年ノ生徒ヲ以テ學級ヲ編制スヘシ

一學級ノ生徒定數ハ四十人以内トス、
第十五條 高等學校ニ於テハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ學科目ノ種類ニ從ヒ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第十六條 高等學校ノ教員ハ文部大臣ノ授與シタル高等學校教員免許狀ヲ有スル者タルコトヲ要ス但シ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

高等學校教員免許狀ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十七條 高等學校ノ設備、編制、學科目及其ノ程度、教科書並生徒ノ入學退學及懲戒、授業料入學料等ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十八條 公立及私立ノ高等學校ハ文部大臣ノ監督ニ屬ス

第十九條 文部大臣ハ公立及私立ノ高等學校ニ對シ報告ヲ徵シ檢閲ヲ行ヒ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十條 本令ニ依ラサル學校ハ勅定規程ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外高等學校ト

稱シ又ハ其ノ名稱ニ高等學校タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用フルコトヲ得

附 則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治二十七年勅令第七十五號高等學校令及高等中學校令ハ之ヲ廢止ス

舊令ニ依ル高等學校ハ之ヲ本令ニ依ル高等學校トス

前項ノ高等學校ニハ當分ノ内第十三條ノ規定ヲ適用セス

高等學校大學豫科ハ大正十年八月三十一日マテ之ヲ存置ス

四、高等學校教員免許狀

四、高等學校規程 (抄)

(大正八年三月
文部省令第八號)

第一章 學科課程及教科書

第二節 高等科

第四條 高等科文科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、第一外國語、第二外國語、歷

史、地理、哲學概説、心理及論理、法制及經濟、數學、自然科學、體操トス

高等科理科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、第一外國語、第二外國語、數學、物

理、化學、植物及動物、鑛物及地質、心理、法制及經濟、圖書、體操トス

外國語ハ英語、獨語又ハ佛語トス

第二外國語ハ隨意科目トス

第五條 修身ハ教育ニ關スル勅語ノ趣旨ニ基キ道德上ノ思想及情操ヲ養成シ實踐躬

行ヲ勸奨スルヲ以テ要旨トス

修身ハ道德ノ要領ヲ授ケ國家、社會、家族ニ對スル責務並人格修養ニ關シ必要ナ

ル事項ヲ知ラシメ特ニ我國民道德ヲ會得シ其ノ實行ニ努メシムヘシ

第六條 國語及漢文ハ言語文章ヲ了解シ正確且自由ニ思想ヲ表ハスノ能力ヲ得シメ

智徳ヲ啓發シ文學上ノ趣味ヲ養フヲ以テ要旨トス

國語及漢文ハ文科ニ在リテハ近世、近古及中古ノ國文ヲ授ケ進ミテ上古文ノ一般

ニ及ホシ又普通ノ漢文ヲ講讀セシメ國語文法及國文學史ノ大要ヲ授ケ作文ニ習熟

セシムヘシ

理科ニ在リテハ近世及近古ノ國文並普通ノ漢文ヲ授ケ作文ニ習熟セシムヘシ

第七條 外國語ハ英語、獨語又ハ佛語ヲ了解シ且之ニ依リテ思想ヲ表ハスノ能力ヲ

得シメ兼テ智徳ノ増進ニ資スルヲ以テ要旨トス

外國語ハ發音、綴字、讀方、譯解、話方、作文、書取及文法ヲ授クヘシ

第八條 歴史ハ重要ナル古今ノ事蹟ヲ知ラシメ邦國ノ盛衰、文化ノ發達ヲ理會セシ

メ特ニ我國運發展ノ由來、國體ノ特異ナル所以ヲ明ニシ國民性格ノ養成ニ資スル

ヲ以テ要旨トス

歴史ハ日本歴史、東洋歴史及西洋歴史ヲ授クヘシ

第九條 地理ハ我國及重ナル世界各國ノ現状ヲ知ラシムルヲ以テ要旨トス

地理ハ我國及諸外國ノ政治、經濟等ニ關スル地理上ノ知識ヲ授クヘシ

第十條 哲學概説ハ思想界ニ關スル知識ヲ與ヘ哲學ノ概念ヲ會得セシムルヲ以テ要旨トス

哲學概説ハ東洋及西洋ノ哲學、宗教等ニ就キテ其ノ大要ヲ授クヘシ

第十一條 心理及論理ハ心意ニ關スル知識ヲ得シメ思考ヲ鍛練セシムルヲ以テ要旨トス

心理及論理ハ各種ノ精神作用、思考ノ原則及其ノ方法ノ概要ヲ授クヘシ

第十二條 數學ハ數理ヲ會得セシメ計算應用ニ熟セシメ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

數學ハ文科ニ在リテハ數學諸論ノ大要ヲ授ケ理科ニ在リテハ代數、立體幾何、三角法、初等解析幾何、初等微分積分及初等力學ヲ授クヘシ

第十三條 自然科學ハ天然物及自然ノ現象ニ關スル知識ヲ與ヘ其ノ法則ヲ理會セシムルヲ以テ要旨トス

自然科學ハ生物、地質、物理、化學等ニ關スル主要ナル事項ヲ授クヘシ

第十四條 物理、化學ハ自然ノ現象ニ關スル知識ヲ與ヘ其ノ法則ヲ理會セシメ之カ應用ヲ示シ兼テ觀察工夫ノ力ヲ養フヲ以テ要旨トス

物理ハ力學、物性、音響、熱、光、磁氣、電氣ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

化學ハ無機化學及有機化學ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

第十五條 植物及動物、礦物及地質ハ天然物ニ關スル知識ヲ與ヘ之カ應用ヲ示シ兼テ觀察ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

植物及動物ハ生物ノ形態、生理、分類、進化ニ關スル知識ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

礦物及地質ハ礦物ノ產狀、性質、用途、地球ノ構成及其ノ變遷ニ關スル知識ヲ授ケ又便宜主要ナル實驗ヲ課スヘシ

關係法令

二二

體操	三	三	三
計	(三三) 二九	(三三) 二九	(三三) 二八

第一外國語ハ尋常科又ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シム此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語		一〇	一〇	一〇
第二外國語		(三)	(三)	(三)
計		(三四)	(三四)	(三四)

第二外國語ヲ修メサル者ニ對シテハ其ノ教授時數ヲ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトヲ得

第二十條 理科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
修身		一	一	一
國語及漢文		四	二	一
第一外國語		八	六	六
第二外國語		(四)	(四)	(四)
數學		四	四	(四)
物理學			三	講義三五 實驗二五
化學			三	講義三五 實驗二五
植物及動物		二	二	講義二四 實驗二四
礦物及地質		二		

心理	二	二	二
法制及經濟	二		
圖書	二	二	(二)
體操	三	三	三
計	(二八) (三七)	(二八) (三七)	(二八) (三七)

第三學年ノ數學〔二〕及圖書〔二〕ト第三學年ノ植物及動物〔講義ニ實驗二〕トハ生徒ヲシテ其ノ一ヲ選擇セシムルモノトス

第一外國語ハ尋常科又ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シム此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
-----	----	------	------	------

第一外國語	一〇	九	九
第二外國語	(三)	(三)	(三)
計	三〇 (三三)	三二 (三四)	三二 (三四)

第二外國語ヲ修メサル者ニ對シテハ其ノ教授時數ヲ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトヲ得

第四節 教授上ノ注意

第二十二條 高等學校ニ於テハ高等學校令第一條ノ趣旨ニ依リ生徒ヲ教育シ殊ニ國民道德ノ充實ニ關聯セル事項ハ何レノ學科目ニ於テモ常ニ留意シテ教授センコトヲ要ス

各學科目ノ教授ハ其ノ目的及方法ヲ誤ルコトナク互ニ相聯絡シテ補益センコトヲ要ス

第五節 教科書

第二十三條 高等學校ノ教科書ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ムヘシ但シ文部大臣ノ檢定ヲ經タル中學校教科書ヲ尋常科ノ教科書トシテ使用スル場合ニ於テハ認可ヲ要セス

第二章 學年、教授日數及式日

第二十四條 學年ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日マテトス但シ九月一日ヨリ翌年八月三十一日マテト爲スコトヲ得(大正九年一月文部省令第四號ヲ以テ改正)

第二十五條 教授日數ハ尋常科ニ在リテハ每學年二百二十日以上、高等科ニ在リテハ每學年二百日以上、專攻科ニ在リテハ百九十日以上トス但シ次條ノ場合ニ於テハ此ノ限ニアラス(昭和四年六月文部省令第三十二號ヲ以テ改正) 試驗及修學旅行ニ充ツル日數ハ前項ノ日數ニ算入セス

第二十六條 傳染病豫防ノ爲必要ナルトキ其ノ他非常變災アルトキハ臨時休業ヲ爲スコトヲ得

第二十七條 紀元節、天長節、明治節及一月一日ニハ職員及生徒學校ニ參集シテ祝賀

ノ式ヲ行フヘシ(昭和二年十一月文部省令第十八號ヲ以テ改正)

第三章 編制

第二十八條 尋常科ニ於テ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得ル場合ニ關シテハ中學校ニ關スル規定ヲ準用ス 高等科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除ク外學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得(昭和四年六月文部省令第三十二號ヲ以テ改正)

第四章 設備

第三十一條 高等學校ニ於テハ校地、校舍、體操場及校具ヲ備フヘシ

第三十二條 校地ハ學校ノ規模ニ適應セル面積ヲ有シ且道德上及衛生上害ナキ所タルヘシ

第三十三條 校舍ニハ教室、事務室其ノ他必要ナル實驗室、圖書室、器械室、標本室等ヲ備フヘシ

校舍ハ教授上、管理上及衛生上適當ニシテ堅牢ナルコトヲ要ス

第三十四條 校具ハ教授上必要ナル圖書、機械、器具、標本、模型等トス

第三十五條 高等學校ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外左ノ表簿ヲ備フヘシ

- 一 學則、日課表及教科用圖書配當表
 - 二 職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表
 - 三 生徒學籍簿、出席簿、身體檢查ニ關スル表簿及入營延期又ハ徵兵猶豫ニ關スル書類
 - 四 試驗ノ問題、答案及成績表
 - 五 資産原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿及圖書、機械、器具、標本、模型ノ目錄
- 生徒學籍簿ニハ生徒ノ氏名、族籍、居所、生年月日、入學前ノ學歷、入學轉學退學ノ年月日及其ノ學年、卒業ノ年月日、入學試驗ノ有無、轉學退學ノ事由、徵兵事故、保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スヘシ

第六章 入學、在學、休學、退學及懲戒

第三十八條 生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始ヨリ三十日以内トス(大正九年一月)

文部省令第四號ヲ以テ改正

第四十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ高等科ノ入學ニ關シ中學校第四學年ヲ修了

- シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ム
- 一 他ノ高等學校尋常科ヲ修了シタル者
 - 二 高等學校高等科入學資格試驗ニ合格シタル者
 - 三 專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者
 - 四 文部大臣ニ於テ高等學校高等科ノ入學ニ關シ指定シタル者
 - 五 文部大臣ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者

前項ノ資格試驗ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第四十四條 當該高等學校尋常科ヲ修了シタル者以外ノ入學志願者ノ數高等科各科ニ入學セシムヘキ人員ニ超過スルトキハ入學前ニ於ケル學業成績ト中學校第四學年

修了ノ程度ニ依リ行フ試験ノ成績トヲ併セ考查シテ入學者ヲ選拔スヘシ但シ試験
ハ之ヲ行ハサルコトヲ得

前項ノ考查ノ外必要アリト認ムルトキハ入學志願者ニ對シテ人物考查ヲ行フコト
ヲ得 (昭和二年十一月文部省令第二十八號ヲ以テ改正)

第四十五條 高等學校ニ於テハ入學志願者ニ對シテ身體検査ヲ行ヒ之ニ合格シタル者

ニ限リ入學セシムヘシ但シ當該學校ニ於テ豫科ヨリ尋常科ニ進入シ又ハ尋常科ヨ
リ高等科ニ進入スル者ニ關シテハ此ノ限ニ在ラス (昭和二年十一月文部省令第二十八

號ヲ以テ改正)

第四十六條 高等科第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキ者ハ第一學年ニ入學スル資格ヲ有

シ且前各學年ノ課程ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者タルヘシ
前項入學者ノ學力ハ當該學年ノ程度ニ於テ之ヲ檢定スヘシ (昭和二年十一月文部省令

第二十八號ヲ以テ改正)

第四十七條 高等學校生徒ニシテ退學シタル者退學シタル時ヨリ一年以内ニ於テ高等

學校ニ入學ヲ志願シタル時ハ同一學年以下ノ學年ニ限リ入學ヲ許可スルコトヲ得

(昭和二年十一月文部省令第二十八號ヲ以テ改正)

第四十八條 高等學校生徒ニシテ他ノ高等學校ニ轉學ヲ志望スル者アルトキハ關係學

校長ノ協議ニ依リ之ヲ許可スルコトヲ得

第五十條 (第一項略)

高等學校高等科各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業及
試験ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ムヘシ但シ正當ノ事由アリテ試験ニ缺席シタル者ニ
對シテハ平素ノ學業成績ノミヲ考查シテ之ヲ定ムルコトヲ得

試験ハ學校長ノ見込ニ依リ之ヲ行ハサルコトヲ得 (昭和二年十一月文部省令第二十八號

ヲ以テ改正)

第五十一條 學校長ハ一學年ノ課程ヲ修了セサル生徒ノ學年ヲ進ムルコトヲ得

第五十二條 學校長ハ高等學校高等科ヲ卒業シタル者ニハ卒業證書ヲ、專攻科ヲ卒リ

タル者ニハ得業證書ヲ、尋常科ヲ修了シタル者ニハ修了證書ヲ授與スヘシ

第五十三條 學校長ハ正當ノ事由アリト認メタルトキハ生徒ノ休學ヲ許可スヘシ

第五十四條 學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三 引續キ一年以上缺席シタル者

四 正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者

五 出席常ナラサル者

第五十五條 生徒退學セントスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十六條 學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第八章 雜則

第五十八條 高等學校ノ學則中ニ規定スヘキ事項凡左ノ如シ

一 學年、學期及休業日ニ關スル事項

二 學科課程、教授時數ニ關スル事項

三 課程ノ修了及卒業ノ認定ニ關スル事項

四 生徒ノ入學、退學、懲戒ニ關スル事項

五 授業料、入學料ニ關スル事項

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

五、文部省直轄學校外國人特別入學規程

(明治三十四年十一月
文部省令第十五號)

第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ

一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省、在外公館又ハ本邦所在ノ外國公

館ノ紹介アルモノニ限り特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長

若ハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條 帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力ア

リト認メタル者ニ限リ之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限ニ
アラス

第四條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントス
ル者ニハ試験ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試験料、入學料及授業料ヲ徵
收セサルコトヲ得

第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ
設クルコトヲ得

附

則

第七條 本令施行ノ際文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス在學スル外國
人ハ本令ニ依リ入學シタルモノト看做ス

第八條 明治三十三年文部省令第十一號文部省直轄學校外國人委託生ニ關スル規程
ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

六、高等學校高等科學力檢定規程

(大正十年十一月
文部省訓令號外)

第一條 高等學校高等科學力檢定試験ハ帝國大學學部又ハ官立大學ヨリ其ノ入學志
願者ノ學力檢定試験施行ノ通告アリタル場合ニ限リ高等學校ニ於テ施行ス

第二條 試験ハ二月ニ於テ之ヲ施行ス
第二條 試験ハ高等學校高等科卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フヘシ高等學校高等科ニ入
學スル資格ヲ有セサル者ニハ先ツ中學校第四學年迄ノ必修各學科目ニ就キ第四學

年修了ノ程度ニ依ル學力檢定試験ヲ行フヘシ

第三條 試験ヲ受ケントスル者ハ受験料金五圓ヲ納ムヘシ
既納ノ受験料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

第四條 試験ニ合格シタル者ニハ左式ノ證明書ヲ交付スヘシ

(證明書書式略)

◇學則

第一章 總則

第一條 本校ニ高等學校高等科ヲ置キ分チテ文科及理科トス
 文科ニ甲類及乙類、理科ニ甲類、乙類及丙類ヲ置ク

第二章 學年、學期及休業

第二條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第三條 學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

- 第一學期 四月三十一日マテ
- 第二學期 八月三十一日マテ
- 第三學期 十二月三十一日マテ

第四條 休業日ハ左ノ如シ

- 一日 日曜日
- 一 春季休業 三月十一日ヨリ四月七日マテ
- 一 夏季休業 七月十一日ヨリ九月五日マテ
- 一 冬季休業 十二月二十五日ヨリ一月七日マテ
- 一 創立記念日 十一月八日
- 一 紀元節
- 一 天長節
- 一 秋季皇靈祭
- 一 神嘗祭
- 一 明治節
- 一 新嘗祭

第三章 學科課程及教授時數

第五條 學科課程及教授時數ハ高等學校規程第十九條及第二十條ノ定ムル所ニ依ル

第四章 入學、在學、休學及退學

第六條 入學セシムヘキ生徒ノ概數、選抜ノ方法ニ關スル概要及出願ノ手續ハ其ノ都度之ヲ定ム

第七條 入學考査料ハ金五圓トス

既納ノ入學考査料ハ何等ノ事情アルモ之ヲ返付セス

第八條 入學ヲ許可セラレタル者ハ本校所定ノ在學證書、履歷書及戶籍謄本ヲ差出シ且入學料金參圓ヲ納付スヘシ

指定ノ期日マテニ前項ノ手續ヲ了セサル者ニ對シテハ入學許可ヲ取消スヘシ

一旦納付シタル入學料ハ何等ノ事情アルモ之ヲ返付セス

第九條 在學證書ハ生徒在學中保證ノ責ニ任スヘキ父兄ヲ保證人トシ其ノ連署ヲ以テ差出スヘシ

但シ本文ニ該當スル父兄ナキトキハ之ニ代リテ其ノ責ニ任スヘキ者ヲ定ムヘシ

第十條 保證人死去若クハ他ノ事故ニヨリ其ノ義務ヲ盡ス能ハサルニ至リタルトキ

ハ他人ヲ以テ之ニ代ヘ更ニ前條ノ手續ヲナスヘシ

第十一條 疾病又ハ已ムヲ得サル事故ニヨリ課業ニ缺席スル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ノ上其ノ當日ヨリ三日以内ニ届出ツヘシ但シ疾病ニヨリ七日以上缺席セントスル者ハ届書ニ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第十二條 生徒ハ豫メ校長ノ許可ヲ得ルニアラサレハ他ノ學校ニ入學出願スルコトヲ得ス

第十三條 退學シタル者ノ再入學ニ關シテハ高等學校規程第四十七條ニ依リ詮議ノ上許可スルコトアルヘシ

第十四條 疾病又ハ事故ニヨリ三箇月以上修學スルコト能ハサル者ハ保證人連署ノ上

該學年間休學ヲ願出ツルコトヲ得但シ疾病ニヨル場合ニハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ

添附スヘシ

第十五條 兵役ニ服スル者ハ其ノ期間休學ノ取扱ヲ受クルコトヲ得

第十六條 休學ハ兵役ニ服スル場合ノ外ニ學年ニ跨ルコトヲ得ス

第十七條 兵役ニ服スル爲休學シタル者ハ服役滿期後一箇月以内ニ於テ課業ニ就クヘ

シ

第十八條 疾病又ハ事故ニヨリ退學セントスル者ハ保證人連署ヲ以テ其ノ旨願出ツヘ

シ但シ疾病ニヨル場合ニハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命ス

一 高等學校規程第五十四條ノ各號

一 引續キ二回進級スルコト能ハサル者但シ兵役ニ服スル爲休學シタル場合ヲ除

ク

一 授業料ノ滯納十五日ニ及フ者

一 豫メ校長ノ許可ヲ得スシテ他ノ學校ニ入學出願シタル者

第二十條 生徒タル本分ニ背キタル者ハ其ノ輕重ニヨリ之ヲ懲戒ス

懲戒ハ戒飭、停學、放校トス

第五章 學業成績考查

第二十一條 學業成績ハ各學期之ヲ考查シ各學期ノ成績ヲ平均シタルモノヲ以テ學年

成績トス

第二十二條 學期成績ハ學期試驗、平素ノ學業並勤惰ヲ參酌シテ之ヲ定ム但シ學科目

ニヨリテハ其ノ全部又ハ一部ノ試驗ヲ行ハサルコトアルヘシ

第二十三條 卒業成績ハ第三學年ノ學年成績ニ依ル

第二十四條 進級及卒業ノ認定ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第六章 授業料

第二十五條 授業料ハ一學年金八拾圓トス

授業料ハ三期ニ分納セシム其ノ分納額及納付期日左ノ如シ

學 期	分 納 額	納 付 期 日
第 一 學 期	金 貳 拾 四 圓	四 月 十 五 日 ヨリ
第 二 學 期	金 參 拾 貳 圓	九 月 十 七 日 ヨリ
第 三 學 期	金 貳 拾 四 圓	一 月 十 七 日 ヨリ

第二十六條 再入學シタル者ハ其ノ學期分ヨリ授業料ヲ納付スヘシ

第二十七條 授業料未納中ニ退學スル者ハ其ノ學期分ノ授業料ヲ納付スヘシ但シ退學又ハ放校ヲ命シタル者ニ就テハ此限ニアラス

第二十八條 授業料ハ缺席、停學、休學等ノ爲之ヲ免除スルコトナシ但シ兵役ニ服スル爲休學シタル者ニ對シテハ授業料徵收期前ニアリテハ月割ニテ翌月分ヨリ、其ノ後ニアリテハ次學期分ヨリ之ヲ徵收セス

第二十九條 兵役ニ服スル爲休學シタル者學期ノ中途ニ於テ課業ニ就キタルトキハ其ノ學期分ノ授業料ハ其ノ月分ヨリ月割ヲ以テ之ヲ徵收ス

第三十條 第二十八條及第二十九條ノ場合ニ於ケル授業料月割額ハ金八圓トス
前項授業料月割ニ關シテハ七月及八月分ヲ算入セス

第三十一條 一旦徵收シタル授業料ハ何等ノ事情アルモ之ヲ返付セス

第七章 寄 宿 寮

第三十二條 新ニ入學シタルモノハ總テ一學年間寄宿寮ニ入ルヘキモノトス但シ已ムヲ得サル事情アルモノニ對シテハ通學ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十三條 新入生徒以外ノ入寮志望者ニ對シテハ寄宿寮收容人員數以内ニ於テ入寮ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十四條 寄宿料ハ一學年金貳拾圓トシ左ノ三期ニ分納セシム

第 一 期 (自四月 至六月) 金 六 圓 四月八日ヨリ 四月十三日マテ

第二期 (自九月 至十二月) 金 八 圓 九月十日ヨリ 九月十五日マテ

第三期 (自一月 至三月) 金 六 圓 一月十日ヨリ 一月十五日マテ

中途入寮スル者ハ入寮許可ノ日ヨリ五日以内ニ其ノ期分(其ノ月分ヨリ月割計算)ノ寄宿料ヲ納付スルモノトス

納付期日前退寮スル者ノ寄宿料ハ其ノ月分ヲ退寮ニ際シ徴收ス

前項ノ場合ニ於ケル月割額ハ金貳圓トス

第三十五條 寄宿料ノ滞納者ニ對シテハ授業料滞納ニ關スル規定ヲ準用ス

第三十六條 既納ノ寄宿料ハ何等ノ事情アルモ之ヲ返付セス

◇ 細 則

一、生徒心得

一、保證人遠隔ノ地ニアルモノハ便宜府下又ハ近縣ニ在住スル相當ノ人ヲ以テ代理保證人トシテ届出テ置クヘシ

一、缺課セントスルトキハ豫メ口頭ヲ以テ學級主任ニ若シ學級主任不在ノトキハ生徒主事ニ申出テ置クヘシ

一、缺席缺課ノ届書ハ三日以内ニ學級主任ノ承認ヲ受ケタル上之ヲ生徒課ニ差出スヘシ

一、引續キ缺席ノタメ三日以内ニ出校シテ届出ツルコト能ハサルトキハ直ニ郵便ヲ以テ缺席届ヲ生徒課ニ送付スヘシ

一、生徒ノ舉行セントスル事項(運動、辯論)等ハ總ヘテ豫メ生徒課ニ申出テ校長ノ

決裁ヲ經テ實行ノ準備ニ着手スヘシ

- 一、集會ヲナサントスルトキハ其ノ旨生徒主事ニ申出テ其ノ許可ヲ受クヘシ
- 一、集會ハ成ルヘク生徒集會所ニ於テ行フヘシ
- 一、集會所ヲ使用セントスル場合ハ生徒課ニ申出テ其ノ許可ヲ受クヘク其ノ以外ノ校舎内ノ場所ヲ使用セントスルトキハ庶務課ニ申出テ其ノ許可ヲ受クヘシ
- 一、生徒カ揭示ヲナサントスルトキハ其ノ寫シヲ添ヘテ生徒課ニ提出シ許可ヲ受クヘシ
- 一、宿所ハ學年ノ始ニ之ヲ届出ツヘシ又宿所ヲ變更シタル場合ニハ直ニ届出ツヘシ
- 一、生徒ハ所定ノ制服ニテ登校スヘシ若シ和服着用ノ要アル時ニハ其ノ旨生徒課ニ届出テ其ノ許可ヲ受クヘシ
- 一、校舎内ニ於テハ本校規定ノ運動靴ヲ用フヘシ
- 一、校舎内ニ於テハ生徒控室及生徒集會所ノ外喫煙スヘカラス
- 一、教官カ所定ノ時刻ニ教室ニ見エサルトキハ教務課ニ問合スヘシ決シテ隨意ニ退散スヘカラス

一、生徒ハ常ニ學校ノ揭示ニ注意スヘシ

二、學級主任

- 一、各學級ニ學級主任一人ヲ置キ教授中ニ就キテ校長之ヲ命ス、但シ任期ハ一箇年トス
- 一、學級主任ハ他ノ關係教官ト聯絡ヲ執リ擔當學級ノ生徒ノ風紀、學業、勤惰、操行、健康等ニ留意シテ生徒ヲ指導監督スルモノトス
- 一、學級主任ハ生徒ノ退學、休學、缺席其ノ他ノ諸届願書ヲ審査スルモノトス

三、指導主任

- 一、本校ニ指導主任若干人ヲ置キ教官中ニ就キ校長之ヲ委囑ス
- 一、各指導主任ノ擔當スヘキ生徒ハ約三十人トシ其ノ家庭ノ事情等ヲ斟酌シテ之カ分屬ヲ定ム

一、指導主任ハ常ニ父兄、保證人及關係教官ト聯絡ヲ執リ其ノ擔當セル生徒ノ學業、勤惰、志操、健康、交友等ニツキ其ノ在學中個人的ニ之ヲ指導スルモノトス

四、生徒正副總代

一、各學級ニ生徒ノ正副總代各一人ヲ置ク

一、正副總代ハ生徒ヲシテ候補者若干名ヲ選舉セシメ其ノ中ニ就キ校長之ヲ命ス、其ノ任期ハ一箇年トス

但シ第一學年級第一學期ハ首席ヨリ二人ヲ以テ之ニ充ツ

一、正副總代ハ其ノ學級生徒ノ風紀ヲ正シ學校ノ規則命令ヲ傳ヘ教室ノ秩序ヲ保ツヘ

五、服裝規程

本校生徒ノ服制ハ次ノ如ク定ム

一、正帽

制式

海軍形

品質色

羅紗、黑色

前章

帽文字章(別圖ノ通)

横章

白線二條(幅二分)

(帽章圖)



二、略帽

制式

緣約三寸五分、高約三寸

品質

麥、藁

前章

正帽ニ同シ

横章

鉢卷、海老茶色布、巾約一寸五分

帽章ハ凡テ實費ヲ以テ學校ヨリ之ヲ交付ス

三、冬服

制式

立襟

品質色

ヘル、濃紺

鈕釦

色黄、品質真鍮、本校ノ徽章ヲ附セルモノ

襟章

色黄、品質真鍮、文科ハL、理科ハSノローマンゴジック

形文字ヲ左襟ニ附ス

四、夏服

制式

冬服ニ同シ

品質色

小倉、鼠霜降

鈕釦、襟章

冬服ニ同シ

五、靴

制式

黒色

運動靴ハゴム底トス

六、防寒雨衣

制式

將校マント

品質色

羅紗黒色

和服ニテ外出ノ場合ハ必ス袴ヲ穿テ制帽ヲ着スヘシ

六、學業成績考查細則

第一條 各學科目ノ學業成績ハ評點ヲ以テ之ヲ表示ス

第二條 各學科目ノ評點單位數ヲ定ムルコト左ノ如シ

細則

文科學科目評點單位數

學科	第一學年			第二學年			第三學年		
	甲類	乙類	丙類	甲類	乙類	丙類	甲類	乙類	丙類
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
國語及漢文	二	二	二	二	二	二	二	二	二
英語	三	三	三	三	三	三	三	三	三
獨語	一	一	一	一	一	一	一	一	一
歷史	一	一	一	一	一	一	一	一	一
地理	一	一	一	一	一	一	一	一	一
哲學概說									
心理及論理				一	一	一	一	一	一
法制及經濟									

理科學科目評點單位數

學科	第一學年			第二學年			第三學年		
	甲類	乙類	丙類	甲類	乙類	丙類	甲類	乙類	丙類
數學	一	一	一	一	一	一	一	一	一
自然科學	一	一	一	一	一	一	一	一	一
體操	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二

細則

計	體操	圖畫	法制及經濟	心理	礦物及地質	植物及動物	化學	物理	數學
一四	一	一	一		一	一			二
一四	一	一	一		一	一			二
一四	一	一	一		一	一			二
一四	一	一				一	一	一	二
一四	一	一				一	一	一	二
一四	一	一				一	一	一	二
一四	一	一				一	一	一	二
一四	一	(一)				(二)	二	二	(一)二
一四	一	(一)				(二)	二	二	(一)二
一四	一	(一)				(二)	二	二	(一)二

備考 第三學年ノ數學(一)及圖畫(一)ト植物及動物(二)トハ生徒ヲシテ其ノ一ヲ選擇セシムルモノトス

第三條 評點ヲ分チテ學期評點、學年評點トシ各學科目ノ評點一單位ハ一百點ヲ以テ最高トス

第四條 學期評點ハ各學科目ノ學期成績ニ對シテ其ノ評點單位毎ニ之ヲ付ス

第五條 學年評點ハ各評點單位ニツキ各學期評點ノ和ヲ三除シタルモノヲ以テ之ヲ定ム

學年評點ノ和ヲ學科目ノ評點單位總數ニテ除シタルモノヲ以テ學年平均評點トス

第六條 學期試驗ヲ行ハサル學科目ノ學期評點ハ平素ノ學業及勤惰ニヨリテ之ヲ定ム

第七條 左表ノ條件ニ該當スルモノハ進級又ハ卒業セシム但シ平素ノ操行勤惰ヲ參酌スルモノトス

學年平均評點	學年評點六十未滿ナル
六十以上	無
六十以上	一
六十以上	四十以上

學年評點六十未滿ナルノ數

一單位ハ四十以上、一單位ハ五十以上ニシテ各何レカノ學期評點六十以上

六十以上

總單位數ノ三分ノ一以内

各單位五十以上

第八條 學期試験ニ缺席シタルモノニ對シテハ追試験ヲ行ハス但シ缺席ノ事由正當

ナリト認メタルモノニ對シテハ當該學期ニ於ケル平素ノ學業及勤惰ヲ參酌シ他ノ學期評點平均ノ八割以内ニ於テ認定點ヲ付ス

第九條 一學年間二回以上同一學科目ノ試験ニ缺席シタルモノハ特別ノ詮議ニ依ル

モノ、外進級又ハ卒業セシムルコトナシ

七、轉科轉類細則

第一條 轉科轉類ハ第二學年以上ニ缺員アリタル場合ニ限リ特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 轉科又ハ轉類ヲ希望スル者ハ其ノ理由ヲ具シ保證人連署ノ上三月十日迄ニ出願スヘシ

第三條 轉科又ハ轉類出願者ニ對シテハ學年ノ始メニ於テ檢定試験ヲ課ス

八、卒業證書書式

卒業證書

校印

族籍

氏

名

年 月 日生

右者本校高等科文(理)科ノ課程ヲ修メ正ニ其業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

年 月 日

大阪高等學校長位勳學位爵 氏 名

校長印

契印

番 號

九、寮 則

- 一、寮生ハ生徒主事指導ノ下ニ各自秩序ヲ保ツヘシ
- 二、寄宿寮一室ノ定員ヲ二名トシ各寮人員ノ配當ハ生徒主事之ヲ定ム
- 三、寮内日課及時限ハ校長之ヲ定ム
- 四、寮生ハ自治ノ精神ニ基キテ規約ヲ定メ校長ノ許可ヲ經テ之ヲ實行スヘシ
- 五、寄宿寮ニハ總務及委員若干名ヲ置キ其ノ任期ヲ半ケ年トス
- 六、總務ハ一名トシ寮生ノ選舉ニ依リ校長ノ認可ヲ經テ就任ス
- 七、委員ハ各寮ニ二名トシ各寮生ノ互選ニ依リ生徒主事ノ認可ヲ經テ就任ス
- 八、總務ハ全寮生ヲ統率シ庶務ヲ總理ス
- 九、委員ハ寮則及規約ノ實行ヲ督勵シ兼テ各寮ヲ代表ス
- 十、寮生ニシテ退寮セント欲スルトキハ其ノ理由ヲ具シ願出テ校長ノ許可ヲ受クヘシ
- 十一、寮生病氣ニ罹リタルトキハ其ノ症狀ニ依リ退寮又ハ外泊ヲ命スルコトアルヘシ

十二、寄宿寮ノ物品ヲ紛失又ハ毀損シタルトキハ之ヲ辨償セシム

十三、寮生ニシテ其ノ本分ニ背戻スル行爲アリト認ムルトキハ退寮ヲ命ス

一〇、物品會計規程細則

- 第一條 本校所屬物品ノ保管及出納ハ物品會計規則並文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ此ノ細則ニ依リ處理スヘシ
- 第二條 物品ヲ大別シテ備品、消耗品トシ更ニ備品ノ用途ヲ專用、共用ノ二種ニ分ツ、共用トハ各部ニ於テ共用スルモノヲ云ヒ專用トハ職員各自ニ專用スルモノヲ云フ但シ備品消耗品ノ種別ハ校長之ヲ定ム
- 第三條 各課及特別教室其ノ他必要ト認メタル部局ニ物品監守者及物品取扱主任ヲ置キ共用備品ノ監守並消耗品取扱ノ責ニ任セシム
- 但シ專用備品ハ職員各自監守ノ責ニ任ス各部局ニ於ケル監守者ノ監守區域ハ校長別ニ之ヲ定ム

第四條 本校各部局ニ於テ所要ノ物品アルトキハ品目、數量、事由、部局名ヲ記載セル請求書ヲ會計課ニ差出スヘシ

第五條 前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ物品會計官吏ハ之ヲ調査シタル上校長ノ命令ヲ受ケ在庫品ナル時ハ直ニ之ヲ支給シ購入ヲ要スルモノハ購入ノ手續ヲ經タル上之ヲ支給スヘシ

第六條 通常所要ノ物品ハ物品會計官吏ニ於テ一年所要高ヲ豫定シ校長ノ許可ヲ受ケ一回若クハ數回ニ取纏メ購入ノ手續ヲナシ之ヲ倉庫ニ藏置シ各部局ノ請求ニ應ジ支給ノ手續ヲナスヘシ

臨時所要ノ物品ハ各部局主任ノ請求ニ依リ物品會計官吏ニ於テ其ノ都度校長ノ決裁ヲ受ケ購入ノ手續ヲナシ之ヲ支給スヘシ

第七條 生産物又ハ寄贈ニ係ル物品ハ會計課ニ於テ其ノ品名、數量及價格若クハ評價ヲ付シ藏置若クハ支給ノ手續ヲナスヘシ

第八條 物品會計官吏ニ於テ受入シタル物品ヲ支給セントスルトキハ備品ニアリテ

ハ番號札ヲ現品ニ付シ共用品専用品ヲ區分シテ備品支給簿ニ記入シ消耗品ニアリテハ消耗品支給簿ニ記載シタル後之ヲ各部局物品監守者又ハ物品取扱主任者ニ交付シ受領ノ證トシテ帳簿ニ捺印セシメ若クハ領收證書ヲ徴スヘシ

第九條 物品監守者又ハ物品取扱主任者物品ノ配付ヲ受ケタル時ハ直チニ備品監守簿又ハ消耗品受拂簿ニ記帳スヘシ

第十條 各部局所用ノ物品ニシテ不用トナリタル物アル時ハ直チニ物品會計官吏ニ返付ノ手續ヲナスヘシ

第十一條 物品會計官吏前條物品ノ返付ヲ受ケタル時ハ之ヲ調査シ將來使用ノ見込アル物ハ保管ノ手續ヲナシ使用ノ見込ナシト認メタル物ハ校長ノ決裁ヲ請テ處分スヘシ

第十二條 物品ヲ亡失又ハ毀損シタル時ハ物品監守者又ハ物品取扱主任者其ノ事實ヲ詳記シ物品會計官吏ヲ經テ校長ニ具申スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ校長ノ裁定ニヨリ責任者ヲシテ之ヲ修理セシメ又ハ代品若ク

ハ相當代價ヲ辨償セシムルモノトス

第十三條 物品監守者又ハ物品取扱主任者ハ物品ノ自然破損ニシテ修理ノ上使用ノ見込アリト認メタル物ハ之カ修理ヲ請求シ其ノ見込ナキ物ニ就テハ之カ返付ノ手續ヲナスヘシ

第十四條 物品監守者又ハ物品取扱主任者交迭ノ場合ニハ交迭者及會計課員立會ノ上現品ト關係書類ヲ照合ノ上引繼ヲ了スヘシ
引繼ヲ了シタルトキハ其ノ旨書面ヲ以テ物品會計官吏ノ手ヲ經テ校長ニ届出ツヘシ

第十五條 使用中ノ物品ニ就テハ物品會計官吏ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ管理スヘシ

- 一、備品ハ毎年一回以上備品支給簿ヲ以テ各部局ニ就キ現品ヲ査閲シ監守簿ヲ調査スルコト
- 二、消耗品ハ各學期一回以上消耗品支給簿ト現品トヲ照合スルコト
- 三、前項ノ場合ニ於テ物品亡失毀損ヲ發見シ又ハ其ノ使用上ニ付意見アル時ハ校長ノ決裁ヲ經テ處理スルコト

長ノ決裁ヲ經テ處理スルコト

第十六條 物品會計官吏ハ左ノ帳簿ヲ備ヘテ物品ノ出納保管ヲ明確ニス

- 一、備品出納簿 本簿ハ器具、機械、標本、圖書ニ分類シ品名、數量、價格、番號、月日、納人及渡先等ヲ記シ其ノ出納ヲ明ニス
- 一、消耗品出納簿 本簿ハ品目毎ニ口座ヲ設ケ品名、數量、價格、月日、納人及渡先等ヲ登記シ又在庫品並消費高ヲ明ニス
- 一、備品支給簿 本簿ハ命令文書ニ基キ使用ニ供シタル物品ヲ記入シ其ノ所在ヲ明ニシ監守者又ハ物品取扱主任者ヲシテ受領ノ印ヲ押捺セシム
- 一、消耗品支給簿 本簿ハ命令文書ニ基キ支給物品ヲ記入シ取扱主任者ヲシテ受領ノ印ヲ押捺セシム

第十七條 物品監守者又ハ物品取扱主任者備品監守簿、消耗品受拂簿、郵便切手受拂簿ヲ備ヘテ物品ノ現存及受拂ヲ明確ナラシムヘシ

第十八條 帳簿様式ハ別紙ノ通り之ヲ定ム

第十九條 本校ニ物品檢閲委員ヲ置キ左ノ事項ニツキ定期及臨時ノ檢閲ヲ行フ

一、物品保管ノ適否

二、物品使用及消費ノ適否

三、物品缺損ノ有無

一、帳簿ト現品トノ對照

第二十條 物品檢閲ヲ分チテ定期臨時ノ二トス定期檢閲ハ毎年六月之ヲ施行シ臨時檢

閲ハ臨時必要ノ場合ニ之ヲ施行ス

第二十一條 物品檢閲委員ハ委員長一名委員若干名トシ毎年六月職員中ヨリ校長之ヲ

命ス

第二十二條 物品檢閲ハ在庫品ニアリテハ物品會計官吏使用中ノ物品ニアリテハ物品

監守者又ハ物品取扱主任立會ノ上之ヲ行フヘシ

第二十三條 物品檢閲委員ニ於テ檢閲ノ上故障ナシト認ムルトキハ帳簿ニ捺印シテ之

ヲ證スヘシ若シ故障アル時ハ當該責任者ヨリ始末書ヲ差出サシメ處分了ルヲ俟チ

テ前記ノ手續ヲナスヘシ

第二十四條 物品檢閲委員檢閲ヲ終リタルトキハ其ノ顛末ヲ具シ意見ヲ付シテ校長ニ

申報スヘシ

(帳簿様式略)

一一、圖書取扱細則

第一條 本校所屬ノ圖書ハ總テ之ヲ圖書課ニ於テ保管ス

第二條 本校職員生徒及特ニ校長ノ許可ヲ得タル者ハ本校所屬ノ圖書ヲ閱覽スルコ

トヲ得

第三條 本校職員ハ所定ノ手續ヲ了シ職務ニ必要ナル圖書ヲ借受ケ之ヲ携出スルコ

トヲ得

但シ貴重圖書、辭書類及閱覽室備付ノ圖書ハ特ニ校長ノ許可アルニアラサレハ之

ヲ携出スルコトヲ得ス

第四條 教官ハ三十冊事務員ハ五冊ヲ限リ圖書ヲ借用スルコトヲ得

教科用トシテ借用スヘキ圖書及雜誌類ハ其ノ冊數ヲ制限セス

第五條 教官室特別教室又ハ事務室等ニ備付ヲ要スル圖書ハ當該學科主任又ハ各課主任之ヲ借受ケ其ノ保管ノ責ニ任スルモノトス
前項ノ圖書ハ其ノ借受冊數ヲ制限セス

第六條 貸付ノ圖書ハ第一學期末指定期日內ニ悉皆返納スヘシ
但シ時宜ニヨリテハ隨時返納セシムルコトアルヘシ

第七條 生徒ニハ每學年ノ始ニ於テ圖書閱覽券ヲ交付ス
閱覽券ハ他人ニ轉貸スルコトヲ許サス若シ之ヲ紛失シタル時ハ直ニ届出ツヘシ

第八條 圖書ヲ閱覽セントスル者ハ圖書閱覽券ヲ差出シ所定ノ手續ヲ履ムヘシ
但シ閱覽室備付ノ圖書ニハ此ノ手續ヲ要セス

第九條 借覽ノ圖書ハ退出ノ際必ス返納シ圖書閱覽券ノ還付ヲ受クヘシ

第十條 生徒ハ一時ニ洋裝圖書四冊ヲ限リテ借覽スルコトヲ得
但シ和裝圖書ハ二冊ヲ以テ洋裝圖書一冊ト見做ス

第十一條 閱覽室ハ休日ノ外毎日之ヲ開ク開閉ノ時限ハ時々之ヲ揭示ス

第十二條 閱覽室ニアリテハ生徒ハ靜肅ヲ旨トシ左ノ各項ヲ遵守スヘシ
一、制服又ハ和服ノ際ハ袴ヲ着用スルコト

二、閱覽室備付及借受ノ圖書等ヲ閱覽室外ヘ携出セサルコト
三、音讀、雜誌、喫煙等他人ノ妨害トナル舉動ヲナササルコト

四、必要ナキ物品ヲ携入セサルコト
第十三條 閱覽室內ニ於テ不都合ノ行爲アリタル時ハ直ニ退去ヲ命シ其ノ甚シキモノハ相當ノ處分ヲナスヘシ

第十四條 本校所屬ノ圖書ヲ紛失又ハ毀損シタルトキハ同一ノ物品ヲ以テ之ヲ償ハシメ又ハ其ノ修理ヲ負擔セシムルコトアルヘシ

◆評議員會規程

- 第一條 評議員會ハ評議員ヲ以テ組織シ重要ナル校務ニ關シ諮問ヲ要スル場合ニ於テ校長之ヲ開ク
- 第二條 評議員ハ若干名トシ本校教授中ニ就キ校長之ヲ命ス
- 第三條 必要ノ場合ニハ評議員以外ノ職員ヲモ評議員會ニ列席セシムルコトアルヘシ

教頭、各課長及生徒主事ハ當然評議員トス

◆學科主任規程

- 第一條 一學科目又ハ二學科目以上ヲ合セタルモノニ學科主任ヲ置ク
- 第二條 學科主任ハ本校教官中ニ就キ校長之ヲ命ス
- 第三條 學科主任ハ校長ノ指揮ヲ承ケ教務課長ト協議ノ上當該學科ノ授業ニ關スル事項ヲ掌ル

但シ必要ニヨリ一學科目ヲ分チ之ニ各學科主任ヲ置クコトヲ得

◆校務分掌規程

- 第一條 本校ニ教務課、生徒課、圖書課、庶務課及會計課ヲ置キ校務ヲ分掌セシム
 - 第二條 本校ニ教頭、各課ニ課長一人ヲ置キ、課長ノ下ニ主任一人ヲ置ク但シ教務課長ハ教頭ヲ以テ之ニ充テ、會計課ニハ課長ヲ置カス會計主任其ノ事務ヲ掌ル
 - 第三條 教頭、課長及各課主任ハ職員中ヨリ校長之ヲ命ス
 - 第四條 教頭ハ校長ヲ輔ケ全般ノ校務ニ參與ス
 - 第五條 課長ハ校長ノ命ヲ承ケ各分掌事務ヲ管理ス
 - 第六條 主任ハ課長ノ指揮ヲ受ケ各課ノ事務ヲ掌理ス
- 第六條 教務課ノ掌ルヘキ事項次ノ如シ
- 一 學科課程、教科書、授業時間、學級編成ニ關スルコト
 - 二 入學者選抜試験、學業成績考查及學力檢定ニ關スルコト
 - 三 入學、退學、休學、卒業及學籍ニ關スルコト

- 四 教室設備及授業ニ關スルコト
- 五 生徒ノ學業成績、品行又ハ在學ノ證明ニ關スルコト
- 六 生徒ノ出席統計ニ關スルコト
- 七 教官ノ諸報告ニ關スルコト
- 八 教官會議ニ關スルコト
- 九 學科主任及學級主任ニ關スルコト
- 十 其ノ他教務ニ關スル一切ノコト

第七條 生徒課ノ掌ルヘキ事項次ノ如シ

- 一 生徒ノ訓育ニ關スルコト
- 二 生徒ノ風紀操行ニ關スルコト
- 三 生徒ノ勤惰並ニ出席調査ニ關スルコト
- 四 生徒ノ體育及運動ニ關スルコト
- 五 生徒ノ集會並ニ揭示ニ關スルコト

- 六 生徒ノ通學及宿所ニ關スルコト
- 七 寄宿寮ニ關スルコト
- 八 生徒ノ體格檢查及衛生ニ關スルコト
- 九 兵役ニ關スルコト
- 十 生徒ノ訓誨及懲戒ニ關スルコト
- 十一 生徒ノ學資及其ノ保管ニ關スルコト
- 十二 指導主任ニ關スルコト

第八條 圖書課ノ掌ルヘキ事項次ノ如シ

- 一 圖書ノ保管、整理及出納ニ關スルコト
- 二 圖書印ヲ管守スルコト
- 三 圖書目錄編纂ニ關スルコト
- 四 圖書購入及修理ノ計劃ニ關スルコト
- 五 書庫及閱覽室ニ關スルコト

六 其ノ他圖書ニ關スル一切ノコト

第九條 庶務課ノ掌ルヘキ事項次ノ如シ

- 一 御眞影及勅語ノ保管ニ關スルコト
- 二 校長官印及校印保管ニ關スルコト
- 三 職員ノ進退身分及服務ニ關スルコト
- 四 文書ノ接受發送及其ノ整理保存ニ關スルコト
- 五 日誌記録及一覽、統計、報告等ニ關スルコト
- 六 規則ノ制定改廢ニ關スルコト
- 七 儀式ニ關スルコト
- 八 當直ニ關スルコト
- 九 傭人ニ關スルコト
- 十 寄附ニ關スルコト
- 十一 他ノ課ニ屬セサル一切ノコト

第十條 會計課ノ掌ルヘキ事項次ノ如シ

- 一 歳入、歳出、豫算、決算及出納ニ關スルコト
- 二 國有財産及資金保管ニ關スルコト
- 三 金錢ノ收支及保管ニ關スルコト
- 四 物品ノ出納及保管ニ關スルコト
- 五 會計ニ屬スル公文書類ノ整理及保存ニ關スルコト
- 六 物品檢閲ニ關スルコト
- 七 物品ノ購入賣拂貸借ニ關スルコト
- 八 營繕及物品ノ修理ニ關スルコト
- 九 傭人ノ使用ニ關スルコト
- 十 校内ノ設備、警備、掃除及衛生ニ關スルコト
- 十一 其ノ他會計ニ關スル一切ノコト

第十一條 各課ノ分掌事務ニシテ相關聯スルモノハ合議ニヨリテ之ヲ處理ス

◇文書處理規程

- 第一條 本校ニ到達シタル公文書ハ庶務課ニ於テ之ヲ接受シ受付簿ニ登記シ收受ノ番號及月日ヲ記入シテ直ニ主掌分課ニ配付シ取扱者ノ印ヲ徵スヘシ
- 二分課以上ニ關係アル文書ハ其ノ重キニ從ヒ配付スヘシ
- 親展書ハ封緘ノ儘宛名ニ配付スヘシ
- 第二條 文書ノ配付ヲ受ケタルトキハ主掌分課ニ於テ遲滯ナク相當處理スヘシ
- 第三條 立案ハ一定ノ議案用紙ヲ用フヘシ
- 第四條 議案書ニハ關係書類ヲ悉ク添付シ其ノ顛末ヲ知り易カラシムヘシ
- 第五條 決裁濟文書ニシテ發送ヲ要スルモノハ各其ノ主掌分課ニ於テ淨書校合シ成案ト共ニ庶務課ニ回付スヘシ
- 第六條 庶務課ハ前條ノ回付ヲ受ケタルトキハ直ニ發送ノ手續ヲ了シ成案ヲ當該課ニ返付シ證印ヲ徵スヘシ

第七條 發送文書及必要ト認メタル受付文書ハ庶務課ニ於テ之ヲ件名簿ニ登記スルモノトス

第八條 完結シタル文書ハ其ノ主掌分課ニ於テ整理保存スヘシ

第九條 本規程ハ特殊ノ取扱ヲ要スル文書ニハ之ヲ適用セス

◇校旗規程

- 第一條 校旗ハ本校ヲ代表スル標幟トス
- 第二條 校旗ハ全校職員生徒ノ参加スヘキ儀式又ハ之ニ準スル場合ニ出場ス
- 前項出場ノ場合ハ學校長之ヲ指定ス
- 第三條 校旗ノ取扱ハ學校長ノ指揮ヲ受ケ旗手班之ニ當ル但シ非常變災ノ場合ハ此限ニアラス
- 第四條 旗手班ハ十名トシ身體強健、品行方正、學業優良ナル生徒中ニ就キ學校長

之ヲ命ス

旗手班ハ交互ニ校旗ヲ捧持シ又ハ之ヲ護衛スルモノトス

第五條 旗手班ノ任期ハ一學年間トス

第六條 校旗ハ庶務課ニ於テ之ヲ保管ス

職員

校長 限本繁吉 福岡
教授 漢文 評議員 文學博士 秋月胤繼 東京
漢文 評議員 文學士 日野月明喜 愛媛
英語 評議員 文學士 堤田峯次郎 福岡
歷史 評議員 文學士 本庄實 三重
獨語 評議員 文學士 岡野留次郎 和歌山
哲學概説、心理及論理 評議員 文學士 脇坂無為 兵庫
數學 評議員 理學士 上田兼二郎 京都
化學、自然科學 評議員 理學士

職員

(昭和八年十月一日現在)

校長

教授

評議員 文學博士

秋月胤繼 東京

評議員 文學士

日野月明喜 愛媛

評議員 文學士

堤田峯次郎 福岡

評議員 文學士

本庄實 三重

評議員 文學士

岡野留次郎 和歌山

評議員 理學士

脇坂無為 兵庫

評議員 理學士

上田兼二郎 京都

英語	文學士	酒田井賢	靜岡
鑛物及地質 (兼)	理學士	江原真伍	茨城
第三高等學校教授	理學士	奧野喜一	三重
法制及經濟	法學士	森田淳一	大阪
動物	理學博士	全田忠藏	大阪
英語 (兼)	文學士	宮田和一郎	京都
國語	文學士	市原用	千葉
物理	理學士	藤田元春	京都
地理 (兼)	文學士	安井源雄	奈良
獨語	文學士	杉浦寅之助	大阪
植物、自然科學	理學士	妻木德一	東京
化學	理學士	太田林三	大阪
物理	理學士	上田實	東京
數學	理學士		

生徒主事

獨語	文學士	興地實英	兵庫
獨語	文學士	畑中伊三郎	兵庫
數學	理學士	神田力	岡山
法制及經濟	評議員	伊藤朝生	福岡
修身	評議員	平澤俊雄	山形
佛語	文學士	桑原武夫	福岡
歷史	文學士	市村其三郎	茨城
文學士	全田忠藏	大阪	
教授	文學士	平澤俊雄	山形
(兼)	教授	伊藤朝生	福岡
(兼)	教授	法學士	

配屬將校

練 步兵第三十七聯隊附陸軍歩兵中佐

萩原正秀 靜岡

助教授

松 下 信 雄 大阪

理 操

前 田 唯 壽 鳥取

生徒主事補

(兼)

助教授 松 下 信 雄 大阪

備外國人教師

チャールズ・ケネス・バロカ 米國

ドクトル・フィロソフイェー

ローベルト・シンチンゲル 獨國

講 師 (囑託順)

井 上 直 方 奈良

教 體 物 體 獨 英 圖

書 講 語 語 語 操 書 操

陸軍砲兵大尉

壹 岐 桃 治 鹿兒島

(劍道)

神戶高等工業學校教授工學士

川 井 一 岐 阜

(弓道)

大日本武徳會劍道教士

志 賀 矩 鹿兒島

陸軍歩兵中尉

宮 本 留 六 和歌山

文學士

山 内 二 郎 東京

エドモン・ローラン 佛國

(弓道)

大日本武徳會弓道教士

上 田 仁 一 福 島

第三高等學校備外國人教師

チャールズ・ゴルドン 英 國

文學士

加 藤 盛 一 廣 島

陸軍歩兵少尉

若 野 跡 三 大 阪

濱 田 葆 光 東 京

文學士

熊 野 達 六 郎 大 阪

理學士

永 井 種 次 郎 京 都

體 圖 體 體 佛 國 體 英 漢 體 心 佛

語 理 書 操 文 語 操 語 語 操 書 操

大阪帝國大學助教授

職員

操 (柔道) 大日本武德會柔道教士

黑山高磨 福岡

教務囑託

泳

齋藤巍 洋 千葉

書記

文學士

大森正三郎 奈良

會計主任

主任收入官吏
物品會計官吏

藤澤兼次郎 東京

安田武四郎 愛媛

羽島猛雄 鹿兒島

連甫 福井

事務囑託

城野雄介 鹿兒島

外 雇

化學教室勤務

動物、礦物及地質教室勤務

校

醫

醫學博士 醫學士 藤澤清 大阪

職員

八五

三田二郎 兵庫
井道繁雄 岐阜
辛嶋八重丸 大分
片山寛之 石川
佐野捨一 岡山
下田シゲヨ 大阪
白神輝一 岡山
森德一 香川

學科主任

修身 國語 漢文 英語 獨語 佛語 歷史、地理 哲學概說、心理、論理 數學 物理、自然科學 化學

教授 平澤俊雄
 教授 宮田和一郎
 教授 秋月胤繼
 教授 日野月明喜
 教授 本庄實
 教授 桑原武夫
 教授 堤峯次郎
 教授 岡野留次郎
 教授 脇坂無爲
 教授 市原用
 教授 上田兼二郎

學級主任

文科第一學年甲類
 文科第一學年乙類
 理科第一學年甲類
 理科第一學年乙類
 理科第一學年丙類
 文科第二學年甲類

教授 森田淳一
 教授 江原眞伍
 教授 奧野喜一
 講師 川井一
 講師 壹岐桃治
 教授 安井源雄
 教授 市村其三郎
 教授 上田實
 教授 宮田和一郎
 教授 神田力
 教授 酒井賢

文科第二學年乙類
 理科第二學年甲類
 理科第二學年乙類
 理科第二學年丙類
 文科第三學年甲類
 文科第三學年乙類
 理科第三學年甲類
 理科第三學年乙類
 理科第三學年丙類

指導主任

教授 本庄實
 教授 上田兼二郎
 教授 市原用
 教授 杉浦寅之助
 教授 日野月明喜
 教授 岡野留次郎
 教授 脇坂無為
 教授 畑中伊三郎
 教授 妻木德一
 教授 日野月明喜
 教授 堤田峯次郎

教授 本庄實
 教授 岡野留次郎
 教授 脇坂無為
 教授 上田兼二郎
 教授 酒井賢
 教授 奧野喜一
 教授 森田淳一
 教授 宮田和二郎
 教授 市原用
 教授 安井源雄
 教授 杉浦寅之助
 教授 妻木德一
 教授 太田林三

職員

九〇

事務分掌

教務課

課長

教頭

教授

秋月胤繼

主任事務取扱

事務囑託

城野雄介

雇

辛嶋八重丸

教授 上田林實

教授 興地實英

教授 畑中伊三郎

教授 神田力

教授 桑原武夫

教授 市村其三郎

生徒課

課長

生徒主事兼教授

全田忠藏

教授兼生徒主事

平澤俊雄

教授兼生徒主事

伊藤朝生

生徒主事補助講師

壹岐桃治

助教授兼生徒主事補

松下信雄

講師

宮本留六

講師

若野跡三

雇

下田シゲヨ

寄宿寮勤務

圖書課

課長

教授

堤峯次郎

主任

書記

羽島猛雄

職員

九一

職員

庶務課

主任

(兼)

(兼)

佐野捨一

書記 大森正三郎

書記 藤澤兼次郎

書記 井道繁雄

書記 白神輝一

書記 藤澤兼次郎

書記 安田武四郎

書記 羽島猛雄

書記 連甫

書記 井道繁雄

書記 森德一

會計課

主任

(兼)

森德一

◇生徒

(昭和八年五月卅一日現在)

一、氏名 五百六十一人

(氏名ノ上ハ出身校名下ハ本籍府縣名ナリ)

○文科第三學年 甲類 四十一人

- 北野山内 治生 三重 今 宮松田 重一 大阪 住 吉岸本 一郎 大阪
- 今宮柴田 末男 三重 高 津鈴木 勳 千葉 今 宮河村 澄夫 大阪
- 今宮山口 哲男 大阪 今 宮馬場 靖文 奈良 天王寺 大浦 研二 徳島
- 名古屋商 田邊 博之 愛知 八 尾野村 正男 大阪 第三神戸 速水 徹 東京
- 北野攪田 元吉 大阪 津 山片山 武 岡山 今 治野間 文吉 愛媛
- 高津丹羽 千年 大阪 今 宮渡邊 正二 千葉 今 宮野津 悦三 大阪
- 高津河本 良一 兵庫 郡 山清原 良正 奈良 今 宮伊藤 秀三 大阪
- 舞鶴上羽 岩見 京都 市 岡中島 克雄 福岡 十津川 山口伊左衛門 奈良
- 堺 橋本利之助 大阪 堺 石原 嘉治 大阪 麻 布山本 哲二 東京

生徒

- 小野 松尾寅之助 兵庫 豊中 三木正太郎 大阪 今宮 小倉 健二 大阪
 - 市岡商 長船正五郎 大阪 北野 橋本 修 大阪 豊岡 三宅芳賀夫 兵庫
 - 今宮 川島 健三 大阪 和歌山 西風 健 和歌山 生野 刀禰 勝 和歌山
 - 元山 清水 時亮 大阪 北海 瀧川 藤田 若雄 北海道 甲陽 前田 保 兵庫
 - 高津 汐見 久夫 大阪 専檢 若林 清山 梨
- 文科第三學年 乙類 三十六人
- 多度津 安井 正己 香川 四條 暖下村與八郎 大阪 北野 弓削 隆一 東京
 - 神港 平瀬巳之吉 兵庫 高津 早川 一男 和歌山 天王寺 村山 修一 大阪
 - 堺商 島田 勇雄 廣島 住吉 榎本 國民 埼玉 住吉 藤川 種男 大阪
 - 高津 錦田 眞和 大阪 鳳鳴 河合 淳次 兵庫 堺 土橋 丞 大阪
 - 東商 不二 良藏 大阪 天王寺 浦岡 正信 大阪 今宮 清水 正次 大阪
 - 市岡 中村 茂夫 三重 郡山 赤井 智夫 奈良 茨木 古川 秀夫 大阪

- 成器商 田中 芳男 京都 高津 松田 義孝 奈良 岸和田 北野 林造 大阪
 - 住吉 渡邊 裕 岐阜 高津 小山 收 大阪 住吉 南郷 千早 鹿兒島
 - 和歌山 中畑 三郎 和歌山 風野 野田 忠夫 滋賀 和歌山 浦野誠一郎 和歌山
 - 第一神戶 天野 宗治 愛媛 和歌山 太田 穰一 大阪 北野 伊丹 要一 大阪
 - 大阪 桃山 志水 一郎 京都 今宮 藤田 貢 愛媛 北野 宮里 俊一 大阪
 - 堺 土田 克孝 福井 德島 山蔭 卓典 德島 畝傍 山田新之輔 奈良
- 理科第三學年 甲類 三十三人
- 多度津 神原 豊三 香川 岸和田 目武 雄 大阪 宮津 角田 榮 京都
 - 泉尾 工 森本兵太郎 大阪 北野 岩井 一郎 大阪 住吉 島田 茂 大阪
 - 八尾 秋田 武夫 大阪 市岡 福島 正 香川 和歌山 山本 孝 和歌山
 - 八尾 山下多賀雄 大阪 北野 竹本 清 大阪 豊中 藤井 涼二 大阪
 - 奈良 竹村 潤一 奈良 岸和田 松村 俊夫 大阪 北野 青池 寛三 大阪

上 宮 山野 正二 大阪 愛知第一 高坂 憲三 愛知 住 吉木村 彰夫 京都
 京都第一 大賀 郁夫 京都 北 野筒井 啓介 愛媛 岸和田 覺野重太郎 大阪
 第三神戸 今井 正善 群馬 土 佐上谷 慶次 高知 八尾巽 巖 大阪
 伊丹谷垣 守吾 兵庫 第一神戸 高見 久長 兵庫 住 吉大谷 靖 大阪
 郡山 西川與志男 奈良 高津佐渡島 博 大阪 京都第三 太田 謹介 京都
 住 吉福田 忠治 島根 堺 湯川 明夫 大阪 天王寺 河崎 重雄 廣島

○理科第三學年 乙類 三十一人

天王寺 大久保 澁 大阪 市 岡野崎 始 大阪 今 宮山田三喜夫 滋賀
 今 宮鶴身精太郎 大阪 住 吉福井 定光 大阪 第一神戸 鶴見 正夫 東京
 第一神戸 百瀬 靖遠 長野 北 野木下 皓 大阪 北 野森田 利光 大阪
 高津中山 信正 大阪 北 野大成 功 大阪 高松 本 彰 香川
 和歌山 小川 八束 三重 中學海南 菅野 準 高知 堺 仲本 碩雄 大阪

高津濱田 敏行 高知 北野大森 郁乎 鳥取 丸龜西山 清茂 香川
 住 吉岡野 正 京都 今 宮川端富之助 大阪 天王寺 西名 糺夫 大分
 住 吉上代 昌 島根 市 岡萩原 喜一 大阪 鳳 浦野 博夫 大阪
 高津山篠 修 香川 土佐 富田 信正 高知 高津樋口 忠清 三重
 今 宮岡本 篤 福井 第一神戸 井上 長治 兵庫 高松 國井 泰行 香川
 北野柴野 貢 兵庫

○理科第三學年 丙類 四十一人

今 宮神田貞之助 大阪 天王寺 田崎 高義 新潟 第一神戸 清水 良夫 兵庫
 今 宮梅本 英夫 大阪 高津村田 正雄 大阪 天王寺 森 寅藏 大阪
 瀧川竹原公太郎 德島 住 吉池上 輝夫 大阪 市 岡隱岐 利光 奈良
 堺 井上 正雄 高知 今 宮中田 正美 岡山 豊中 土田 幾久 新潟
 今 宮大井 正道 大阪 住 吉佐藤 寛 奈良 堺 黒田 綠郎 大阪

- | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|----|----|----|-----|----|-----|----|---|----|-----|----|----|
| 市 | 岡太田 | 知一 | 大阪 | 北 | 野三野 | 謙 | 大阪 | 勝 | 山 | 福田 | 勝夫 | 鳥取 | |
| 住 | 吉浦野 | 康雄 | 大阪 | 住 | 吉鳥井 | 貞 | 大阪 | 畝 | 傍 | 吉川 | 徳夫 | 奈良 | |
| 住 | 吉藤田 | 米次 | 大阪 | 市 | 岡奥山 | 義治 | 廣島 | 今 | 宮 | 森下 | 泰太郎 | 大阪 | |
| 北 | 野田原 | 正邦 | 宮崎 | 第一 | 岡山 | 荒木 | 豪太 | 岡山 | 住 | 吉 | 酒井 | 啓喜 | 大阪 |
| 北 | 野田杉 | 進一 | 靜岡 | 北 | 野 | 西海 | 清太郎 | 大阪 | 豊 | 中 | 山本 | 健 | 京都 |
| 今 | 宮原田 | 龜吉 | 大阪 | 惟 | 信 | 中川 | 正元 | 愛知 | 豊 | 中 | 若林 | 義之 | 岡山 |
| 北 | 野關 | 好正 | 徳島 | 住 | 吉 | 岸 | 勳 | 徳島 | 生 | 野 | 原田 | 三郎 | 京都 |
| 京都第一 | 福田 | 昭三 | 三重 | 勝 | 所 | 西川 | 保重 | 滋賀 | 豊 | 中 | 目黒 | 庸雄 | 大阪 |
| 京都第三 | 藤井 | 孝三 | 三重 | 市 | 岡 | 樋口 | 光夫 | 大阪 | | | | | |
- 文科第二學年 甲類 三十七人
- | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----|----|----|----|---|---|----|-----|----|---|---|----|----|----|
| 奈 | 良多 | 賀谷 | 健一 | 東京 | 高 | 津 | 藤井 | 貞夫 | 大阪 | 高 | 津 | 濱中 | 武彦 | 大阪 |
| 今 | 宮 | 小林 | 豊男 | 山梨 | 甲 | 陽 | 高河 | 原克次 | 兵庫 | 今 | 宮 | 井上 | 利雄 | 大阪 |

- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|----|----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|----|----|-----|----|-----|----|
| 宇都宮 | 釜井 | 章二 | 栃木 | 第一 | 神戶 | 尾崎 | 慶雄 | 兵庫 | 堺 | 真田 | 靖長 | 大阪 | | | |
| 住 | 吉 | 山本 | 哲郎 | 岡山 | 今 | 宮 | 奥村 | 昌三 | 大阪 | 北 | 野 | 澤村 | 榮治 | 大阪 | |
| 市 | 岡 | 小林 | 章 | 大阪 | 堺 | 松 | 本 | 淳 | 大阪 | 市 | 岡 | 増田 | 幸雄 | 大阪 | |
| 住 | 吉 | 田宮 | 顯太郎 | 大阪 | 高 | 津 | 浮田 | 桂造 | 大阪 | 尾 | 道 | 山崎 | 邦男 | 廣島 | |
| 北 | 野 | 攪濱 | 文雄 | 大阪 | 日 | 高 | 玉置 | 真吾 | 和歌山 | 北 | 野 | 大藪 | 佐一 | 大阪 | |
| 八 | 尾 | 武村 | 茂 | 大阪 | 市 | 岡 | 松島 | 靖 | 福井 | 岸 | 和 | 田 | 清水 | 晶 | 大阪 |
| 天王寺 | 阪井 | 正雄 | 大阪 | 市 | 岡 | 水口 | 憲夫 | 大阪 | 市 | 岡 | 右近 | 保太郎 | 福井 | | |
| 市 | 岡 | 中内 | 幸男 | 高知 | 京都 | 桃山 | 高橋 | 喜久次 | 京都 | 鳳 | 堀 | 内 | 勇 | 大阪 | |
| 新 | 宮 | 岸 | 善男 | 和歌山 | 八 | 尾 | 井上 | 進一 | 京都 | 新 | 宮 | 矢田 | 春雄 | 和歌山 | |
| 住 | 吉 | 大屋 | 忠 | 大阪 | 今 | 宮 | 土師 | 英數 | 大阪 | 堺 | 松 | 村 | 達雄 | 大阪 | |
| 高 | 津 | 藤田 | 政男 | 愛媛 | | | | | | | | | | | |
- 文科第二學年 乙類 三十七人
- | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----|----|----|---|---|----|----|----|---|---|----|----|----|
| 堺 | 吉宗 | 誠一 | 大阪 | 今 | 宮 | 伊藤 | 一郎 | 山口 | 北 | 野 | 丸山 | 隆彦 | 大阪 |
|---|----|----|----|---|---|----|----|----|---|---|----|----|----|

生徒

住	吉平野大太郎	大阪	天王寺	安達	欽一	富山	堺	安井	宗信	香川	
堺	關	正彦	岡山	天王寺	朝田	嘉藏	大阪	今	宮寺東	良一	兵庫
今	宮安田	良一	大阪	天王寺	安田喜久男	大阪	岸和田	柿本	獎	大阪	
高	津大河内靖久	和歌山	今	宮渡	清孝	鹿兒島	北	野廣瀬豊三郎	大阪		
堺	只松敬次郎	福岡	奈	良佐々木	望奈良	住	吉本莊	健男	大阪		
堺	河盛	金彌	大阪	第一神戸	白石	守直	高知	住	吉天野	辰夫	大阪
和歌山	龜井	洸	和歌山	八	尾森田千賀三	大阪	住	吉津守	功	大阪	
堺	臼井	治夫	岐阜	北	野水谷修次郎	大阪	粉	河岩田	千春	和歌山	
北	野麻生	榮一	大阪	天王寺	島田富士郎	福井	天	理木本	義照	奈良	
豊	中福光	立男	東京	住	吉菅原榮太郎	大阪	住	吉渡邊	英夫	大阪	
市	岡村木	馨	石川	北	野越川	正啓	大阪	高	津友金	正三	大阪
北	野伊藤	昇	三重								

一〇〇

○理科第二學年 甲類 四十一人

北	野山田	重康	大阪	京都第三	石川	浩康	大阪	市	岡下間	浩	大阪
第三神戸	小川	清一	山口	堺	入江	督	大阪	富田林	高田	正之	大阪
市	岡橋本	好雄	大阪	住	吉真鍋	恒保	愛媛	八	尾長井孝太郎	大阪	
生	野津村	善雄	和歌山	津	疋田	強三	重	北	野濱本	庄三	大阪
北	野藤井	利一	大阪	生	野小西	岬	奈良	住	吉河原啓太郎	大阪	
岸和田	松波	泰造	大阪	第一神戸	坂上	秀夫	兵庫	住	吉水野	正光	大阪
高	津土屋	登靜	岡	住	吉高橋	宏廣	島	撫	養新見	敏男	徳島
第一神戸	小寺	五郎	兵庫	今	宮岩永	博	大阪	市	岡入江	一郎	岡山
尼	崎木田	昌男	兵庫	北	野木村	正信	大阪	北	野田川	誠男	大阪
今	宮小松	茂	大阪	市	岡太田	佐助	大阪	北	野坂元	平八	鹿兒島
堺	本郷	四郎	大阪	北	野石田	和一	東京	岸和田	西田	彪	大阪

生徒

一〇一

今 宮 黒柳 昌之 和歌山 今 宮 新田 長夫 大阪 第二神戸 小林 利春 兵庫
 畝 傍 安田 定雄 奈良 關西學院 坂上 米次 兵庫 小 倉 重藤 政明 福岡
 第一神戸 田中 幸雄 長崎 北 野 佐々尾 正二 大阪

○理科第二學年 乙類 四十人

北 野 中村 正三 大阪 市 岡 粟野 茂樹 石川 市 岡 吉原 達郎 和歌山
 高 津 栗田 林治 山口 高 松 赤澤 光雄 香川 釜 山 龜田 繁治 和歌山
 第一神戸 松尾 恒雄 兵庫 第一神戸 乾 久朗 北海道 北 野 那須 專一 徳島
 今 宮 劔 實夫 大阪 宇治山田 小林 正博 三重 四條 中内 正二 三重
 北 野 徳永 勝福 井 天王寺 井上爲治郎 大阪 高 津 角 英雄 大阪
 北 野 本多正八郎 岡山 今 宮 角南 虔吾 岡山 北 野 豊田 準三 石川
 高 津 北本 明信 京都 堺 今西 正一 大阪 堺 青木 大大 大阪
 堺 大澤 清作 大阪 今 宮 紙田 信夫 大阪 市 岡 森 清太郎 大阪

今 宮 佐田 正山 口 今 宮 井澤 滋 大阪 天王寺 住吉 貞之 北海道
 堺 吉田 博義 大阪 京都第一 中原 秀生 山口 和歌山 岡 守夫 和歌山
 北 野 松本 茂福 鳥取 第二神戸 大江 文吉 兵庫 三 國木部 正福 井
 彦 根 中村誠太郎 滋賀 北 野 三谷 隼雄 高知 高 津 鍛治 辰市 徳島
 生 野 辰田虎之助 奈良 北 野 川合 俊 奈良 堺 三宅 春雄 廣島
 市 岡 西村 茂保 徳島

○理科第二學年 丙類 三十九人

曉 星 吉田 政彦 東京 曉 星 松宮 節郎 三重 曉 星 齋藤金一郎 東京
 今 宮 佐賀 二郎 大阪 北 野 藤田 明平 大阪 北 野 廣部 精次 三重
 北 野 布施 敏信 長野 北 野 清水 達夫 岐阜 高 津 大串 良治 大阪
 粉 河 高幣 隆美 和歌山 豊 中村上 行賢 大阪 今 宮 鳴瀧良之助 大阪
 北 野 杉澤 英男 奈良 高 津 平岩 正 大阪 北 野 岩本 清 大阪

生徒

一〇四

生	野丸田	隆一	奈良	曉	星岡本	武隆	京都	京城公立	岡部	宗雄	福岡
海	南中	中央	和歌山	京都第二	太田	良忠	大阪	北	野今澤	一郎	大分
天王寺	白石	一誠	愛媛	都島	荒堀	憲二	滋賀	市	岡長谷川	光	大阪
高	津山本	正之	石川	上	宮早川	正己	大阪	天王寺	田積	正勝	大阪
高	津龜岡	善高	大阪	天王寺	宮川	獎藏	熊本	津	若山	一修	三重
竹	田堤	利夫	大分	住	吉藤井	弘三	廣島	高	津嶋田	時隆	福井
第一神戸	加頭	宏兵	兵庫	和歌山	楠瀬	正英	高知	高	津朝野	春太郎	大阪
今	宮長谷川	武治	大阪	市	岡和田	弘毅	高知	撫	順井上	透	岐阜

○文科第一學年 甲類 三十七人

天王寺	小松	弘一	大阪	宮	津吉岡龍之助	京都	住	吉福井	徳次	大阪	
天王寺	皆川	幹	大阪	北	野坂下	俊郎	大阪	天王寺	藤原	清	大阪
北	野山本	良雄	愛媛	市	岡市橋	正己	三重	堺	藤枝	了英	大阪

天王寺	後藤	晃	大分	天王寺	松原卯三人	山口	今	宮川	崙	健夫	大阪
天王寺	山田	真三	兵庫	高	津中谷	慧	大阪	門	司笛吹	泰三	福岡
誠之館	高田	要平	廣島	天王寺	岸本	和雄	大阪	天王寺	野木	宗正	大阪
住	吉碓	省吾	大阪	堺	池浦	孝雄	大阪	市	岡井上	弘	大阪
粉	河山西	通夫	和歌山	住	吉池澤	茂	兵庫	岸和田	中谷	重夫	大阪
生	野山口	隆三	大阪	今	宮樋口	素一	大阪	誠之館	山齋藤	弘毅	岡山
第一神戸	小畑	秀男	兵庫	丸	龜井澤	淳	廣島	今	宮淺田	種徳	東京
彦	根土田	敏雄	滋賀	天王寺	山田	武	廣島	土	浦市村	正二	茨城
住	吉磯村	哲	廣島	北	野蛭沼	壽雄	大阪	八	尾吉水	忠男	大阪
高	津木本	繁	大阪								

○文科第一學年 乙類 三十七人

宇治山田 山崎五九二三 三重 姫 路長尾 良 兵庫 畝 傍川島 光孝 滋賀

生徒 一〇五

第一神戸堤	敬太郎	埼玉	豊岡山本	實兵庫	鳳南	進大阪
岸和田深見	悦二	大阪	和歌山戸田	瑞彦	和歌山	今宮音田
高津羽田	秀典	大阪	今宮上本	好男	兵庫	天王寺武田
今宮鹽山清之助	助	大阪	天理和田	真一	大阪	今宮吉田
北野富谷	浩岡	山	津和田	豊兵	庫	海草高橋
堺商平井	重雄	大阪	豊岡柿坂	一郎	兵庫	堺佐々木政憲
高松根本	雅記	香川	住吉中道	茂	大阪	北野太田
畝傍當麻	三郎	奈良	北野寺田	正一郎	大阪	奈良水谷
第一神戸庄野	公雄	徳島	大島田畑	金光	鹿兒島	天王寺杉浦
今宮築留	順三	大阪	第一神戸潮谷	奈津夫	兵庫	北野畑
高津中塚	理健	大阪	北野安藤	勳	香川	第一神戸佐々木
今宮檜垣	正一	高知				第一神戸木那雄

○理科第一學年 甲類 三十七人

今宮小野	茂	大阪	天王寺矢野	慶一	大阪	今宮谷口	尙武	大阪
尼崎阪本辰治郎	兵	庫	住吉岩橋	精一	大阪	岸和田前田	四郎	兵庫
堺奈波	美文	大阪	和歌山神前	文彦	和歌山	甲陽下村	齊	兵庫
住吉岩田謹四郎	大	阪	堺福井	敏夫	大阪	高津關	爲之	京都
生野梯	可一	大阪	北野東條	徹男	大阪	今宮西田	堯	大阪
高津高垣	守	大阪	大邱常石	隆	高知	今宮飛田	禎三	大阪
堺棗田	勝	大阪	北野橋本	節男	大阪	富田林中川	薫	大阪
第一神戸小谷	順彌	兵庫	天王寺野口	順藏	大阪	住吉田賀	喜一	大阪
住吉芹生	一雄	大阪	天王寺池田	弘	大阪	市岡下田	謙造	兵庫
上宮大平	敏明	兵庫	奈良岩井	重久	愛知	天王寺岩田	吉且	三重
今宮片倉	理一	大阪	今宮植田	大助	大阪	市岡森下	卓也	岡山

姫路 青山 壽一 滋賀 岸和田 山本 大章 大阪 畝 傍米田 猷典 奈良
 天王寺 富永 德隆 大阪

○理科第一學年 乙類 三十七人

住 吉池田 豐島根 今 宮倉重 密郎 山口 市岡商 安部 榮造 大阪
 住 吉井上 康治 大阪 北 野清永 伍市 大阪 宇治山田 大北 速男 三重
 北 野松本 淳治 三重 米 子提嶋 福德 鳥取 天王寺 八田 圭爾 岡山
 尼崎 小寺 勝美 兵庫 高 津中嶋 穆 兵庫 北 野木本 信男 大阪
 今 宮山村 龍男 京都 天王寺 尾崎 良嗣 大阪 住 吉中田 茂生 和歌山
 第一岡山 井上 良彦 岡山 今 宮梅垣 懋 京都 生 野和邇 秀俊 滋賀
 天王寺 義井 胤景 大阪 德 島富松 祥郎 德島 直 岡吹譯 越郎 島根
 北 野野原 義次 大阪 住 吉大島 長造 大阪 和歌山 武田 恭一 和歌山
 高 津河野 正男 大分 天王寺 庄野 昇 德島 北 野加藤 晃 京都

住 吉森田 利文 島根 北 野青山 博次郎 大阪 豊 中内田 禰男 愛媛
 八 尾中村 謹次郎 大阪 粉 河岩田 俊二 和歌山 天王寺 藤原 元典 長崎
 豊 中椿 郁登 山口 今 宮行森 隆 岡山 和歌山 木村 茂 和歌山
 三 島尾崎 橘郎 愛媛

○理科第一學年 丙類 三十七人

堺 金井 三郎 大阪 北 野楢原 壽喜男 大阪 高 津土井 正三 大阪
 今 宮安藤 德夫 和歌山 伊 都脇田 正三 和歌山 甲 陽末松 信三 福井
 堺 仲尾 善雄 大阪 堺 南野 富光 大阪 高 津松井 浩清 和歌山
 濱松第一 丸尾 昇 靜岡 鳳 角野 宗治 大阪 住 吉高見 太一郎 大阪
 小 樽岡崎 晃 北海道 尾 道林原 士良 廣島 曉 星名生 昌文 宮城
 八 女樋口 順四郎 福岡 北 野岡本 宏章 兵庫 今 宮蛭子 隆雄 大阪
 住 吉小田 孜 大阪 天王寺 伊藤 禮三 大阪 大 津村田 武次 山口

甲 陽大坪 尙文 佐賀 今 宮松井 圓照 兵庫 今 宮春日 隆 長野
 四條 巖戸田 顯一 京都 高 津小池 正彦 大阪 曉 星中村 貞成 東京
 堺 梅鉢 治雄 大阪 神戸第一 淵 一郎 和歌山 今 宮川野多喜夫 大阪
 高 松十川 義範 香川 今 宮稻角喜久夫 大阪 北 野松浦大義人 大阪
 高 津笹谷 昌男 大阪 北 野下間 達 大阪 鳳 鳴西畑 勇夫 兵庫
 市 岡飯田卯之吉 東京

○ 臨時 學 生 内 部 三 十 八

一、 臨時 學 生 内 部 三 十 八
 二、 臨時 學 生 内 部 三 十 八
 三、 臨時 學 生 内 部 三 十 八
 四、 臨時 學 生 内 部 三 十 八
 五、 臨時 學 生 内 部 三 十 八
 六、 臨時 學 生 内 部 三 十 八
 七、 臨時 學 生 内 部 三 十 八
 八、 臨時 學 生 内 部 三 十 八
 九、 臨時 學 生 内 部 三 十 八
 十、 臨時 學 生 内 部 三 十 八

二、生徒、入學志願者(受験者)入學者科別表

(昭和八年五月三十一日調)

種 別	文 科			理 科			總 計	入 學 者	志 願 者	入 學 者 對 志 願 者 百 分 比
	甲類	乙類	計	甲類	乙類	丙類				
生	三	三	六	三	三	六	一八	九	五	一八、五九
徒	三	三	六	三	三	六	一八	九	五	一八、五九
計	六	六	一二	六	六	一二	三六	一八	一〇	二六、六七
第一學年	三	三	六	三	三	六	一八	九	五	一八、五九
第二學年	三	三	六	三	三	六	一八	九	五	一八、五九
第三學年	三	三	六	三	三	六	一八	九	五	一八、五九

三、生徒本籍別表 (昭和十八年五月三十一日現在)

道府縣	第一學年			第二學年			第三學年			合計
	文甲	文乙	計	文甲	文乙	計	文甲	文乙	計	
北海道			一			二			一	四
東京	一		三	一	一	二	二	一	四	二
京都	一		一	二	一	四	二	一	一〇	二〇
大阪	一九	一五	三三	二二	一九	四一	一八	一四	三二	四八
兵庫	三	六	九	一	五	六	二	二	一〇	二〇
長崎			一		一	一			二	二
新潟		二							二	四
埼玉	一						一		一	二
群馬									一	一
合計	二二	一六	三八	二六	二〇	四六	二〇	一四	三四	一〇〇

道府縣	第一學年	第二學年	第三學年	合計
千葉			二	二
茨城	一			一
栃木		一		一
奈良	一	二	三	六
三重	一	一	二	四
愛知	一	一	三	五
静岡		一	一	二
山梨			一	一
滋賀	一		一	二
岐阜		一		一
長野	一		一	二
宮城	一			一
合計	五	四	一〇	一九

生徒

一一五

文科第一學年	種別	最高	最低	平均
	二〇・五月	一五・五月	一七・六月	

四、生徒年齢表

(昭和十八年五月三十一日現在)

總計	鹿兒島	宮崎	熊本	佐賀	大分	福岡	高知
三七					一	一	
三七	一						一
三七							一
三七					一		
三七				一		一	
三七				一	二	二	二
三七	一						一
三七	一						一
四二	一					一	
四〇						一	一
三九					二	一	二
一九			一		二	三	五
四	二		一		二	一	六
四二					六	一	
三六	一				五	四	一
三三					一		三
三三					一		一
三二					一		一
四二	一	一			一	一	一
二八						一	一
二二						一	五
五六	四	一	一	一	二	六	三

生徒

一一四

愛媛	香川	徳島	和歌山	山口	廣島	岡山	島根	鳥取	富山	石川	福井
一			一	一	四	一					
	二	一	二			一					
			一			一					
二		二	四	二		三	三	一			
	一		四	一	一						一
三	三	三	三	四	五	六	三	一			一
一			三		一	一					二
	一		三	一		一			一	一	一
一		一	二	一	一	一					
	一	三	三	三	一	二		一		二	二
一			二	三	一					一	一
三	二	四	三	五	四	五		一	一	四	六
二		一	二			一					
二	一	一	三		一						一
一	二		一		一						
	四						一	一			一
		三			一	三		一			
四	七	五	六		三	四	二	二			二
一〇	二	二	三	九	二	一五	五	四	一	四	九

理科第一學年	二〇・一〇	一六・三	一七・一
文科第二學年	二二・二	一七・三	一八・七
理科第二學年	二二・七	一七・二	一九・〇
文科第三學年	二四・三	一七・七	二〇・一
理科第三學年	二三・五	一八・三	一九・一〇

五、入學志願者(受験者)入學者學歷別表

(昭和八年五月三十一日調年)

種別	文科		理科		合計	
	入學者	志願者ニ對スル入學者百分比	入學者	志願者ニ對スル入學者百分比	入學者	志願者ニ對スル入學者百分比
中學校第四學年修了者	一四	二七・一八、七五	三二	三三・九、九七	四六	五九・二、六九
中學卒業者	一八七	四七・二五、一三	三七	三三・三、二四	五四	三三・三、三三
總計	三三二	四三・三、六	六八	一〇八・一六、六七	九七九	一八三・一八、五九

卒業生

氏名ノ上ニ東文、京法ノ如ク記載スルハ東京帝國大學文學部卒業、京都帝國大學法學部卒業ノ略稱ニシテ東醫、京經ノ如ク記載スルハ在籍大學學部略稱×ハ死亡、下ハ本籍府縣名ナリ

第一回卒業生 (大正十四年三月) 百四十二人

○文科甲類 三十二人

- 東法 松本 廣治 愛媛
- 京文 飯田 順雄 大阪
- 東文 山本 忠雄 大阪
- 東法 熊野啓五郎 大阪
- 東法 高橋 逸郎 秋田
- 京經 山野 種松 大阪
- 東法 松岡寅治郎 高知
- 東法 今井 清武 三重
- 京文 村上 靜雄 大阪
- 東法 中谷 定吉 京都
- 東法 岡 一郎 岡山
- 京經 村川 達三 大阪
- 東法 谷川 巖 大阪
- 東法 神谷 秀夫 静岡
- 東文 崎山 正毅 大阪
- 京經 中谷 實 大阪
- 東文 小野 勇 大阪
- 東法 乾 久治 大阪
- 東法 堀 正一 大阪
- 東經 高木幸太郎 大阪
- 東法 善積 健一 大阪
- 東經 茨田 健三 大阪
- 東文 神崎 清 香川
- 東經 古藤 敏夫 大阪

卒業生

- 東文 山口 三郎 兵庫
- 東法 寺村 誠一 大阪
- 京文 東 貞一 和歌山
- × 織田昌太郎 兵庫
- 東文 徳山 健三 大阪
- 京法 大庭 唯市 静岡
- 京法 山内 政二 大阪
- 京經 湯 汪 甲 中華民國

○文科乙類 三十四人

- 東法 川上 和吉 大阪
- 東法 嘉屋 丹平 山口
- 東法 巽 與一 大阪
- 東法 坂野 暎 岡山
- 京文 木村 春海 京都
- × 井上 薫 鳥取
- 東法 駒井長一郎 奈良
- 東法 松田 勝 静岡
- 京經 加福 龍郎 兵庫
- 東法 黒山 宣雄 大阪
- 京法 矢村 壽隆 鳥取
- 東法 猪狩 良臣 宮城
- 京法 藤本好太郎 大阪
- 京文 岡本 久長 大阪
- 東法 山内 正司 大阪
- 京法 南雲 義人 大阪
- 京文 沼間 昌教 大阪
- 京法 中城 敏夫 大阪
- × 鞍橋 辰雄 千葉
- 東文 小池 元 長野
- 東文 (舊名政市) 吉井 良顯 奈良
- 東法 大賀 遼作 大阪
- 東法 興地 正美 兵庫

- × 内田平八郎 大阪
- 京法 笹又權一郎 兵庫
- 京法 平田 禎藏 大阪
- 東法 岩津 堅次 大阪
- 京法 福村 幹男 三重
- 京法 戸尾眞三四 奈良
- 京法 白畑 卓治 京都
- 京法 松尾 巽 熊本
- 東法 山本繁太郎 大阪
- 京法 籠田 榮一 兵庫

○理科甲類 三十一人

- 東工 大井 秀夫 大阪
- 東工 高田 信男 大阪
- 京理 今堀 克己 大阪
- 京工 野島安太郎 高知
- 京理 堀尾 正雄 和歌山
- 京工 上總 巍 大阪
- 京醫 金光 義勇 岡山
- 京工 大垣順四郎 兵庫
- 京醫 北條 正三 兵庫
- 京工 森 薫 大阪
- 京醫 梶川 泰造 廣島
- 東理 大鹽 正隆 長崎
- 京工 斧原甚三郎 大阪
- 東工 伊藤憲太郎 大阪
- 東理 大隅 改介 山口
- 京農 岩佐 勝義 愛知
- 京工 酒井 直壽 大阪

卒業生

一一〇

- 京工 三砂 延治 大阪
- 京醫 文珠 政春 大阪
- 京醫 松本 秀俊 大阪
- 京工 齋藤 槽夫 大阪
- 京工 川口 壯吉 大阪
- 東工 大西 直幸 大阪
- 東工 岡本吉太郎 大阪
- 京經 小宮山誠次 滋賀
- 京經 政木仙一郎 大阪
- 京工 松本 周三 兵庫

理科 乙類 二十四人

- 京文 長尾 雄治 大阪
- 東醫 松岡 脩吉 奈良
- 京醫 大谷 卓造 鳥取
- 京醫 濱本 英次 兵庫
- 京醫 初岡三千夫 岡山
- 京醫 吉村 英一 大阪
- 京工 松本 進 大阪
- 東醫 磯部 泰輔 愛知
- 東醫 石川 檜治郎 奈良
- 岡醫 遠藤 修一 岡山
- 京醫 尾崎 正保 和歌山
- 京醫 齋藤 重斌 三重
- 京醫 池邊 宗一 大阪
- 京醫 林 峻士 三重
- 京工 中江 浚 京都
- 京理 吉田 丈二 兵庫
- 東工 古川 隆 和歌山
- 九醫 鈴木 新助 愛知
- 京醫 久保 正雄 大阪
- 東醫 大江芳之助 大阪
- 京工 角尾 敏彦 廣島

○九法 堀口 龍三 大阪

○金醫 立松 清次 大阪

○京法 三好 延男 大阪

理科 丙類 二十一人

- 東工 大野勝三郎 大阪
- 京工 葛原 義雄 三重
- 東工 東 彌三 大阪
- 東工 室田 盛 大阪
- 京工 吉岡 榮夫 大阪
- 京工 村岡 正吉 大阪
- 京理 西浦 源治 大阪
- 九工 淺野孝次郎 大阪
- 京工 増田 周三 兵庫
- 九醫 中原 獅郎 山形
- 京工 馬屋原敬吾 大阪
- 京工 新津 次郎 大阪
- 京工 黒田 義一 大阪
- 京工 森井 傑操 大阪
- 京工 高岡 弘 大阪
- 東農 岩本辰四郎 和歌山
- 京工 倉谷 克彦 三重
- 京工 緒方 正一 兵庫
- 京工 小中 義美 奈良
- 東農 西山 左近 香川
- 京農 押田 幹太 大阪

第二回卒業生 (大正十五年三月) 百七十九人

文科 甲類 三十七人

卒業生

一一一

- 東文 中村福次郎 大阪
- 東法 中條道太郎 大阪
- 東法 仁谷 正雄 大阪
- 東法 (舊姓井倉) 楠本 正彦 奈良
- 京經 小坂 忠勝 大阪
- 九法 升本 正爾 廣島
- 東法 肥田 幸二 大阪
- 東經 中川 祿郎 新潟
- 東經 福井 一 大阪
- 京經 平瀬 俊一 大阪
- 東文 木村嘉一郎 大阪
- 京經 高橋敏一郎 岐阜
- 京法 内藤 倉彦 奈良
- 東法 柳瀬 良幹 和歌山
- 京經 竹中 靖一 大阪
- 東法 瀧井 芳次 奈良
- 東法 濱崎 長門 大阪
- 京經 野原 稔 山口
- 東法 植田 英二 大阪
- 京文 布施 一夫 奈良
- 東法 安田岩太郎 大阪
- 東文 辻部政太郎 大阪
- 東法 淺井 良任 高知
- 京文 横田 高明 大阪
- 京法 日比野貞藏 大阪
- 東經 角下 義次 大阪
- 東法 (舊姓去來川) 八代 俊雄 兵庫
- 東經 楫西 光速 大阪
- 京法 駒井巳代三 大阪
- 京經 香野 一郎 兵庫
- 京經 森本 薰 兵庫
- 東文 藤澤 桓夫 大阪
- 東法 鍋島 穎雄 佐賀
- 東法 靜永 龍雄 大阪
- 東法 佐野 拾一 岡山
- 東法 宮原 萬壽 大阪
- 京法 井上 文策 徳島

○文科乙類 三十六人

- 東法 山下 正夫 鳥取
- 東法 射場康四方 大阪
- 京法 (舊姓高橋) 村川 敬藏 大阪
- 東經 佐竹 彬 鹿兒島
- 東法 德永 元 三重
- 東法 石崎 一 富山
- 東文 竹越 和夫 大阪
- 京法 新口松之助 大阪
- 東法 上田 勳 兵庫
- 東法 宇崎 七五三夫 大阪
- 東文 淺見 滿 兵庫
- 東法 中村 一藏 鹿兒島
- 京文 伊中 敬三 北海道
- 東法 丹羽 廣道 大阪
- 東法 遠藤 亮一 大阪
- 東法 山本 茂 岡山
- 東法 隅野 久 大阪
- 京法 細字 俊一 大阪
- 京法 (舊姓瀧内) 谷垣芳太郎 兵庫
- 東文 星川 清孝 山形
- 東法 岡 忠孝 兵庫
- 東文 田中 治郎 大阪
- 京文 若林 光夫 兵庫
- 東法 森 忠己 兵庫
- 東法 谷口 宏 兵庫
- 東文 生駒 藤雄 大阪
- 東法 土山 克彦 大阪
- 京文 山口 繁雄 徳島
- 京法 森本 博 東京
- 京文 高畑 謙一 香川
- 東文 中山 正善 奈良
- 京文 室田 泰一 大阪
- 東文 長尾 正良 香川

○東文 長沖 一 大阪 ○京法 千葉 實二 和歌山 ○東文 鈴木 五治 東京

○理科 甲類 三十七人

×京工 大谷 正之 兵庫 ○京工 馬屋原勝彦 廣島 ×京工 川本 照雄 大阪

○京工 中間 清 福岡 ○京工 佐藤 靜一 大阪 ○京工 平賀 秀一 大阪

○京醫 沼 正三 和歌山 ○東醫 村井 保雄 大阪 ○京經 室谷 鐵一 大阪

○京工 岡本 壹男 奈良 ○京工 桑原 常隆 福岡 ○京工 安達 達 大阪

○京工 鈴木 亮三 滋賀 ○京工 松井 守義 群馬 ○九工 寺田 重義 奈良

○京理 澤川 眞男 大阪 × 榮 保一 大阪 ○京工 中島 孝 兵庫

○京工 増井 克己 奈良 ○京法 武田 勝一 岡山 × 城 廣嗣 奈良

○東工 辻川 勝雄 香川 ○京工 西田 忠次 大阪 ○京工 高橋 孝一 大阪

○東工 中田 誕次郎 東京 塩見 重彦 東京 ○京醫 岡谷 實 奈良

○東北 武田元之輔 大阪 ○東理 林 要次郎 大阪 ○京工 堀口 博 大阪

○東工 前田 豊造 大阪 ○東農 西尾 直彦 三重 ○京工 道澤 隆三 奈良

○京法 波多野 博 兵庫 ○京農 村山 仁 大阪 ○京理 永井 浩次 大阪

○京法 胡 恭先 中華民國

○理科 乙類 三十四人

○東理 神田 力 岡山 ○京醫 矢倉 俊行 大阪 ○京理 小松 幸藏 兵庫

○東醫 別所 浩次 大阪 ○東醫 山口 正義 長崎 ○京工 木戸佐一郎 大阪

○京醫 淺井 良三 大阪 ○京工 岸田 徹 大阪 ○京醫 御牧 春三 大阪

○九醫 岡本 節男 大阪 ○京理 粟津 三郎 兵庫 ○東醫 平林 俊一 長野

○京理 小島 信夫 兵庫 × 竹田 義彦 大阪 ○京醫 中村 重春 大阪

○京文 小野村胤久 大阪 京醫 國行 道雄 徳島 × 田隅 文雄 兵庫

○九醫 藤澤 元雄 岡山 ○東農 木全 春生 北海道 ○東醫 黒田隆太郎 熊本

○京工 吉祇 勇 大阪 ○東北 原 太郎 兵庫 ○京醫 服部千代藏 滋賀

卒業生

○京醫 四宮 保 鳥取

○九工 川守 裕 大阪

○東農 野坂 季三 青森

虞 中 匡 中華民國

○東北 田中佐太郎 大阪

○九工 鈴木 喜彦 廣島

○東醫 大橋 渡 香川

○東醫 楢山 庸吉 大阪

○九工 石井 太讓 岡山

○京法 (舊姓植田) 吉岡彌之助 大阪

一二六

理科 丙類 三十五人

○京工 内田 佑二 奈良

○東醫 齋藤 溟 富山

○京工 平井平八郎 大阪

○京理 岡村 博 大阪

○京工 村田 真治 東京

○京工 島野 誠一 大阪

久山 一郎 大阪

○京醫 吉村 壽人 兵庫

○東工 勝部 庫三 大阪

○京醫 杉本 英一 大阪

○京工 本田賢太郎 大阪

○京工 飯田 善作 奈良

○東理 辻垣 真三 奈良

○京工 小田 進午 大阪

○東農 市場 彰芳 京都

○京理 山村 清 兵庫

○東文 岡崎 三郎 神奈川

○京工 西郷 亨 兵庫

○京農 南條 完二 和歌山

○京工 中谷 茂一 大阪

○京經 高津久四郎 大阪

○京工 伊庭 賢二 大阪

○京工 山田 重治 和歌山

○東醫 香山滿壽雄 岡山

○九工 中島 敏夫 大阪

○九農 池田 英男 大阪

○金醫 戸隠喜三郎 和歌山

○東工 喜多喜久一 大阪

○京工 前田 貞 福井

○京農 瀬戸 忠武 長野

× 廣田 實 愛媛

× 土屋康太郎 大阪

× 田中 有一 大阪

○九工 谷川萬喜藏 大阪

○京法 佐川 繁夫 大阪

第三回卒業生 (昭和二年三月) 百七十一人

文科 甲類 三十八人

○東法 安井 郁 大阪

○京法 長崎 保三 大阪

○東法 菅生 謙三 大阪

○京法 直原 一雄 岡山

○東法 鈴木 憲三 大阪

○東法 森 恭三 兵庫

○東經 淺見 勝 滋賀

○京經 松村九兵衛 大阪

○東法 宮崎 二郎 大阪

○京經 土井 一徳 大阪

○京文 兒島英之助 大阪

○東文 平井己之助 大阪

卒業生

一二七

卒業生

○東經 山瀬 俊男 兵庫

○東法 恩地光太郎 和歌山

○京法 (舊姓足立) 三島 實 東京

○東法 土屋 豊 静岡

○東經 塩谷 虎彦 和歌山

○京法 芝辻 邦雄 京都

○東法 布井 要一 大阪

○東法 根本 一郎 山形

○京法 山本 常藏 兵庫

○東法 古川 丈吉 大阪

○京法 我部山美景 香川

○東文 林 長男 福島

○京法 龍城健太郎 大阪

○東北 土岐 達文 大阪

○東法 宮本 豊 大阪

○東法 稻垣 太郎 福井

○東法 大辻 鑛藏 大阪

○京法 小山 健吉 和歌山

× 尾崎 巖 岡山

○東法 富松 眞三 大阪

○東法 飯田 正敏 大阪

○京法 岡本 武夫 和歌山

○京法 丸岡 武宣 兵庫

○京法 中谷 金丸 大阪

○京法 小松 肇 廣島

○京法 柴田 鐵彌 愛知

○京法 加藤 實好 京都

○文科乙類 三十三人

○東法 平野 勝二 大阪

○東法 丹羽知治郎 大阪

○京經 岩田 英二 大阪

○東法 吉井 欣治 大阪

○東文 米田倭文夫 奈良

○東法 加藤 實好 京都

○東法 箕輪 三郎 大阪

○東法 梶座喜八郎 大阪

○東法 寺田眞喜太 大阪

○京法 森 平一 大阪

○京法 福田 隆恒 徳島

○京法 樺田 周一 大阪

○東法 宮後 誠一 大阪

○東法 細川 一男 大阪

○京法 廣渡源太郎 福岡

○京法 關原 増雄 兵庫

○京法 大西 重孝 京都

○京法 木村 得造 大阪

○東法 山本宣次郎 大阪

○京法 奥戸 新三 大阪

○東文 柳井 修 東京

○東法 中尾 正平 東京

○京法 稲田 扇二 兵庫

○東法 山崎三七喜 大阪

○京法 山下 宗一 奈良

○京法 三好 義雄 廣島

○京法 門前 潤 鹿兒島

× 佐藤 正久 徳島

○京法 梅本 徳造 大阪

○東經 矢村 敏郎 静岡

○京文 鷺 顯一 大阪

○京法 山田 利雄 大阪

○京法 加藤 榮光 兵庫

○理科甲類 三十八人

○東醫 玉井 正光 大阪

× 石黒 光興 兵庫

○東醫 河本 正一 兵庫

○京工 橋本 安治 京都

○東工 藤高 周平 奈良

○京工 野田忠二郎 大阪

卒業生

- 京工 檀 汎 福岡
- 京工 潮江 尙正 大阪
- 東理 今里 能 大阪
- 東工 土生 英二 大阪
- 京工 加藤 一陽 愛媛
- 京工 岸本 精一 大阪
- 京理 福島 豊 大阪
- 京工 西田 謙次 大阪
- 京農 力身 貞一 大阪
- 京工 大谷新太郎 大阪
- 京農 廣瀬 一雄 大阪
- 京工 平田 憲一 大阪
- 京工 (舊姓大西) 鈴木 戩吉 大阪
- 京理 小林 篤郎 大阪
- 京理 吉澤 甫 大阪
- 京理 中尾 常世 大阪
- 京理 西原 周男 愛媛
- 京工 上田 武治 奈良
- 京理 杉野 久雄 大阪
- 京工 河村 治郎 大阪
- 東農 野々田景義 和歌山
- × 田北 鎮己 大分
- 京工 高橋 誠義 大阪
- 東工 榎原秀治郎 大阪
- 京工 出來 清 大阪
- 京農 福井 文吉 大阪
- 京農 福岡 實男 香川
- 九農 濱村 嘉幸 大阪
- 九醫 海野 武夫 大阪
- 京醫 兒玉 文雄 和歌山
- 京法 桑本 武雄 兵庫
- × 三宅 幸郎 兵庫

○理科 乙類 三十二人

- 京醫 神前 武和 和歌山
- 京醫 (舊姓岡崎) 阪本 基 福井
- 東醫 山田 政壽 大阪
- 東醫 城 鐵男 大阪
- 京工 大村櫻人也 大阪
- 京工 西本 憲三 奈良
- 京工 福地 秀夫 大阪
- 新醫 畠野 尙一 新潟
- 九醫 水尾 清 徳島
- × 木崎 穰 東京
- 京工 妻野虎之祐 大阪
- 京醫 裕 文雄 大阪
- 東醫 曾根 織造 大分
- 京醫 林田 英夫 兵庫
- 京農 小松原潤一 岡山
- 京醫 三谷 久雄 大阪
- 京工 吉田 洪二 大阪
- 東理 四宮 知郎 徳島
- 東農 植村定治郎 大阪
- 荒川三津男 大阪
- 京農 米田 亮三 和歌山
- 京理 酒井 義勝 兵庫
- 京醫 高安 彰 大阪
- × 杉田 榮次 兵庫
- 京醫 伊藤市之助 大阪
- 京文 寺林 潤 大阪
- 九醫 杉山 襄 茨城
- 阪醫 井庭 泰 大阪
- 京理 杉本 石雄 大阪
- 京農 茂原 武雄 群馬
- 九醫 泉谷 武近 奈良
- 京理 (舊姓服部) 森本久次郎 奈良

○理科 丙類 三十人

- 東醫 伊藤 卯一 山形
- 京工 朝山 宗一 大阪
- 京醫 富田 貞興 石川
- 京理 杉野喜一郎 東京
- 京工 速水 惠次 大阪
- 京理 池田 章 大阪
- 京工 關原 猛夫 兵庫
- 京工 政岡 基次 大阪
- 東工 荒井利一郎 大阪
- 京工 吉田 信武 大阪
- 東農 一樂 照雄 徳島
- 東理 齋藤 彝人 群馬
- 京工 寺本 四郎 和歌山
- 京農 淺野 文敏 三重
- 京工 眞壁 昌一 神奈川
- 京理 岡村善太郎 大阪
- 京工 海淵養之助 石川
- 九工 小林 徳司 福岡
- 東工 鮭延 襄 東京
- 京工 山縣 義夫 岡山
- 京工 内海 正一 大阪
- 京工 葛城 一郎 大阪
- 京工 塚本 大三 大阪
- 京工 南野 繁夫 大阪
- 京醫 森岡 芳雄 大阪
- 京工 篠田 義三 大阪
- 東農 辰井 正夫 兵庫
- 京法 杉本農夫也 大阪
- 京理 杉原 恕一 廣島
- 東農 村山 三郎 兵庫

第四回卒業生 (昭和三年三月) 百七十八人

○文科 甲類 三十五人

- 東法 豊崎 光衛 岡山
- 東法 阪上章太郎 大阪
- 京文 伊豫本 一 大阪
- 東法 榊井 又吉 京都
- 東法 堀田 健 和歌山
- 東法 岸野 久澄 大阪
- 東經 田中 精一 東京
- 東法 永田 彰三 大阪
- 東文 諸戸 素純 兵庫
- 東經 渡邊 猛 大阪
- 東文 上田 嘉成 奈良
- 東法 矢柴 信雄 大阪
- 東法 三好 惣次 大阪
- 京法 豊田 秀男 東京
- 京法 長尾 幸雄 大阪
- 京文 篠 勳 兵庫
- 京法 永田 敏夫 大阪
- 京法 篠田 正直 廣島
- 京文 毛利 敦丸 大阪
- 東法 川村 壽三 滋賀
- 京法 宮澤 要一 奈良
- 東法 下村 務 兵庫
- 京法 三田 英一 和歌山
- 京文 岡本 正藏 大阪
- 東文 島内義一郎 愛媛
- 京法 渡邊 悉光 滋賀
- 東文 松原 剛 大阪
- 京法 草野 勳夫 岡山
- 東法 宇津木英一 滋賀
- 京法 重藤 莊一 大分
- 京法 油谷 清一 兵庫
- 東法 野田 久雄 大阪
- 東法 猿橋庄太郎 大阪
- 京法 瀬川 政治 奈良
- 京法 岩尾建次郎 大阪

○文科乙類 三十七人

- 東經 難波田春夫 石川
- 東法 奧山 三次 大阪
- 京文 木船 正夫 京都
- 東經 安井 琢磨 京都
- 京法 西川 美數 香川
- 京法 松本 新治 大阪
- 東經 遠阪 英夫 兵庫
- 京法 星加 秀丸 愛媛
- 京法 武田 泰二 岡山
- 京法 丸山國太郎 大阪
- 東法 (舊姓高木) 川島 武宣 徳島
- 東法 坂井 正 三重
- 東法 杉野 知博 大阪
- 京法 今木彌一郎 大阪
- 京法 山内 秀三 兵庫
- 京法 高島 好隆 大阪
- 京法 柏本 進 大阪
- 京法 植村藤四郎 奈良
- 東經 吉田 賢吉 大阪
- 東經 藤原 貞雄 大阪
- 東文 上道 直夫 大阪
- 京文 熊野達六郎 大阪
- 東法 鈴木 昌夫 三重
- 京法 山田鷹之助 愛媛
- 東經 菱田 讓一 兵庫
- 東文 元治 丈夫 大阪
- 東文 安藤義三郎 香川
- 京法 島武 和男 大阪
- 東文 坂井 尙夫 東京
- 東北 中川 淳 宮城
- 東法 福永 太郎 兵庫
- 東文 林 廣次 大阪

- 京法 濱 和雄 大阪
- 京法 戸田猶治郎 大阪
- 東理 (舊姓玉置) 森野 米三 大阪
- 東理 永廣 武信 和歌山
- 東理 來住 明雄 兵庫
- 京工 西山卯二郎 大阪
- 京文 (舊姓堀瀬) 北垣 尙夫 岡山
- 東工 川井田 實 鹿兒島
- 京文 大家 又司 大阪
- 京醫 (舊姓中西) 成山愛之輔 奈良
- 京工 大橋 輝一 兵庫

○理科甲類 三十八人

- 京文 園原 太郎 長野
- 京工 木村 俊一 香川
- 京工 榎田準二郎 鳥取
- 京工 内田辰之助 大阪
- 東農 竹内 吉次 大阪
- 京工 松本 保雄 大阪
- 京醫 阪卷 市雄 大阪
- 京工 神保紳三郎 大阪
- 京工 (舊姓奥野) 山野 章三 大阪
- 東工 後藤 岩夫 岐阜
- 東工 梅本 郁郎 奈良
- 京工 中岡 義一 大阪
- 京工 芝 浩三 兵庫
- 京工 淺野鐵三郎 大阪
- 京農 加藤 清吾 三重
- 京工 森 二三夫 大阪
- 京工 内本 定一 大阪
- 九醫 田籠 良雄 長崎
- 東理 (舊姓玉置) 森野 米三 大阪
- 東理 永廣 武信 和歌山
- 東理 來住 明雄 兵庫
- 京工 西山卯二郎 大阪
- 京文 (舊姓堀瀬) 北垣 尙夫 岡山
- 東工 川井田 實 鹿兒島
- 京文 大家 又司 大阪
- 京醫 (舊姓中西) 成山愛之輔 奈良
- 京工 大橋 輝一 兵庫

- 九醫 山前 速雄 福岡
- 阪工 安威 周利 大分
- 東工 小野木次郎 兵庫
- 京工 河村 繁 山口
- 九農 三田村六朗 大阪
- 東北理 岡 興藏 和歌山
- 東工 田中 勝 大阪
- 東醫 松林 瞭 佐賀
- 京農 佐藤庄太郎 大阪
- 京工 山下 俊一 香川
- 大工 高島 岩雄 愛媛

理科乙類 三十八人

- 東醫 松田幸次郎 大阪
- 京工 野田 順二 東京
- 京工 橘 善雄 大阪
- 京醫 山本 尙武 兵庫
- 東工 木村 堅治 大阪
- 京醫 野口 昌信 長野
- 京工 西川 義雄 奈良
- 東工 千葉 次郎 大阪
- 東工 小室 利光 京都
- 京工 北原勘一郎 長野
- 京醫 秦 勇夫 廣島
- 京醫 藤原 清 大阪
- 京農 油谷 義圀 大阪
- 京農 岩田久二雄 大阪
- 京醫 河田 加稔 大阪
- 東理 神田 英藏 大阪
- 京醫 森川 平人 大阪
- 京文 清德 保男 香川
- 京醫 東 清 大阪
- 京醫 乾 成美 大阪
- 京醫 江口 清 岡山

- 京醫 澤井 觀 兵庫
- 京理 村上 芳三 大阪
- × 田中 實 兵庫
- 京農 山田 孝雄 大阪
- 京文 稻井 一夫 徳島
- 東農 藤原 彰夫 大阪
- 岡醫 石島 達 滋賀
- 京理 山田 哲三 東京
- 九醫 常久 武男 鳥取
- 長 醫 横井 末吉 大阪
- 名醫 岡林 信一 兵庫
- 京醫 木崎 國嘉 大阪
- 京醫 河合十五平 兵庫
- 千醫 高瀬 幸雄 栃木
- 東醫 森川 利秋 大阪
- 京理 田川 昇 石川
- 九 農 伊藤 馨 長崎

理科丙類 三十人

- 東醫 三好 晴之 香川
- 京工 三宅 利雄 大阪
- 京理 和田 實 大阪
- 京理 高津榮二郎 大阪
- 京理 島村 賢一 奈良
- 東工 吉本 慶三 石川
- 小倉 真美 山形
- 東理 日置 隆一 兵庫
- 京工 大谷宗太郎 大阪
- 京經 杉山吉之助 大阪
- 京工 森 忠一 大阪
- 京工 足立 卓夫 大阪
- 東理 塚田 重雄 和歌山
- 東工 三浦 貢 香川
- 京農 岡 静夫 大阪

- 京工 青笹慶三郎 鳥根
- 京農 森 日出吉 大阪
- 東工 田中太三郎 大阪
- 京理 申 建 瀨 朝鮮
- 京文 國行 義道 徳島
- 京醫 高橋 初夫 宮城
- 東工 津田榮太郎 大阪
- 京農 青木 義雄 奈良
- 東工 田中萬次郎 兵庫
- 九工 高田 忠一 大阪
- 京農 宮本 美忠 大阪
- 京工 岩尾 兼雄 大阪
- 東工 植田 俊郎 兵庫
- 京工 増井 敏克 大阪
- 東農 露木 壽 鳥取

第五回卒業生 (昭和四年三月) 百七十七人

○文科 甲類 三十二人

- 神商 神原藤佐尾 大阪
- 東法 河崎 一郎 大阪
- 東法 柴谷 貞雄 大阪
- 東法 益子 輝夫 青森
- 東文 水谷 松雄 大阪
- 東法 林 辰夫 鳥根
- 東法 前川 義一 東京
- 東法 豊村 靖彦 徳島
- 東法 豊原清太郎 東京
- 京文 野一色利衛 鳥取
- 京法 毛戸 勝治 兵庫
- 東法 桐山喜一郎 大阪

- 京法 綿谷 脩次 大阪
- 東法 龜岡 忠彰 大阪
- 東法 服部 一男 大阪
- 東法 山本 彬 大阪
- 神學 佐治 良三 大阪
- 東法 藤田 太郎 京都
- 東文 下野 信恭 東京
- 東文 嶋田 明雄 大阪
- 京法 門野 正雄 大阪
- 東經 久保淵清水 兵庫
- 神商 辻田 巖 大阪
- 東法 熊谷 恒一 福岡
- 東經 池田昌一郎 大阪
- 東法 小倉 元一 大阪
- 廣文 入谷徳太郎 香川
- 東經 池田 榮一 兵庫
- 京法 佐伯 禮三 富山
- 神商 野口 倫三 愛媛
- 京法 松浦 仙逸 大阪
- 京法 上村 勝郎 三重

○文科 乙類 三十三人

- 東法 河田 爲也 大阪
- 東法 有友 穂 岡山
- 京文 中田 良藏 大阪
- 東法 柏原 昇 大阪
- 京文 小川 勝 廣島
- 京法 龜谷徳次郎 和歌山
- 京文 樋元 和一 香川
- 東法 直野 榮 愛媛
- 京法 越野 義一 石川
- 東經 廣海 晋平 石川
- 京文 上野 照夫 徳島
- 東文 阪本 泉 東京

- 神商 大倉 敏男 岡山
- 京文 本位田重美 岡山
- 神商 須原 清 兵庫
- 京文 杉本 行夫 大阪
- 京法 赤穂 三郎 大阪
- 東文 種子田 宰 鹿児島
- 東北 佐々木 三九一 和歌山
- 東法 阿部 保 大阪
- 京經 吉本 清 大阪
- 京法 小川 四郎 大阪
- 京經 岩坪 康吉 富山
- 京法 金子 陽一 山口
- 東經 黒野 忠雄 大阪
- 東法 吉村 博 大阪
- 京法 大松 亮一 東京
- 京經 柿本 宗夫 大阪
- 東經 西口 清一 兵庫
- 京法 藤野喜一郎 大阪
- 東文 竹重 徳鄰 徳島

理科 甲類 三十六人

- × (舊姓松島) 藤田 弘幸 大阪
- 京工 小柳 美一 奈良
- 京工 千葉 誠一 大阪
- 京工 菱田 英三 兵庫
- 京工 清水 清三 大阪
- 京工 山崎 博 岡山
- 東工 瀬尾秀次郎 大阪
- 京醫 安田誠一郎 新潟
- 京工 松下 伸一 大阪
- 東理 石橋 榮 兵庫
- 京工 足立 弘 兵庫
- 京工 川上 來三 大阪
- 京工 吉田 博 愛知
- 東工 上西 正夫 大阪
- 京農 西尾 正夫 滋賀
- 京工 布袋 眞平 大阪
- 東農 松下 信雄 京都
- 京工 丸 保一 兵庫
- 京理 田原 秀一 徳島
- 京工 島山 武夫 奈良
- 京理 高谷愛次郎 兵庫
- 京農 松本 宗夫 大阪
- 京工 吉田 矢八 廣島
- 京理 太田 柁次郎 大阪
- 京農 趙 重九 朝鮮
- 京理 上田 豊作 滋賀

理科 乙類 四十人

- 東理 木下 佳壽 廣島
- 京農 岡本 脩三 大阪
- 京工 吉田 博 愛知
- 東工 上西 正夫 大阪
- 京農 西尾 正夫 滋賀
- 東北醫 竹久 重美 岡山
- 東工 津村 正光 廣島
- 京工 丸 保一 兵庫
- 東農 松下 信雄 京都
- 京工 堀江 泰三 奈良
- 京工 島山 武夫 奈良
- 京理 高谷愛次郎 兵庫
- 京工 浅村 恭三 大阪
- 京醫 吉田 矢八 廣島
- 京理 太田 柁次郎 大阪
- 京工 庄司野正雄 大阪
- 京醫 寺西 純吉 大阪
- 九法 村山 高 大阪
- 京農 盧老 枝 臺灣
- 京理 上田 豊作 滋賀
- 京工 前田 憲一 大阪
- 東醫 崎山 嵩 大阪
- 阪醫 鈴木 馨 大阪
- 京工 永田 良孝 大阪
- 京醫 山内 達雄 徳島
- 京醫 矢野 肇 愛媛
- 京理 外山 修 大阪
- 阪醫 杉岡 善一 大阪
- 京農 宮崎 忠一 大阪

- 京農 足立晃太郎 兵庫
- 京農 村田元之助 大阪
- 京農 並川 市郎 徳島
- 京農 古武 彌六 兵庫
- 京農 大浦 周一 大阪
- 京農 吉坂 敏郎 滋賀
- 京農 平木 一雄 兵庫
- 京農 高山 貞雄 大阪
- 京農 松村 友行 石川
- 京農 森井 英二 三重
- 京農 蔡八丙 錫 朝鮮
- 京醫 福田 重郎 京都
- 京醫 十川 隆二 兵庫
- 京醫 出羽 助一 大阪
- 京醫 西村 博 大阪
- 京醫 岡田長三郎 大阪
- 京醫 濱本 芳雄 兵庫
- 京醫 越智 順一 大阪
- 京醫 溝口 天清 福岡
- 京醫 前田 謙一 兵庫
- 京醫 廣瀬 英夫 奈良
- 京農 葛谷 重之 大阪
- 京醫 眞弓 喬 大阪
- 京工 宮本 政幸 大阪
- 京理 金井 次郎 大阪
- 京農 淺井 政次 大阪
- 京理 山本 勇 京都
- 京醫 山田虎一郎 大阪
- 京醫 谷口禮太郎 三重
- 京醫 井上 順一 大阪
- 金醫 加藤 豊明 大阪

理科

丙類

三十六人

- 東理 川端直太郎 大阪
- 神商 安田 喜一 大阪
- 東工 藤田 恒治 兵庫
- 京工 福井 武夫 和歌山
- 京工 保田市兵衛 三重
- 阪醫 小山 英次 大阪
- 京理 駒津 義明 富山
- 阪醫 藤井 明 三重
- 京農 岩前 博 大阪
- 京理 荒木 逸夫 京都
- 京工 金澤 一雄 大阪
- 京工 吉田 義夫 奈良
- 東工 五十嵐醇三 和歌山
- 京工 坂本 秀雄 三重
- 京醫 有本 勤 和歌山
- 東工 小山 正三 和歌山
- 京工 西畑 忠雄 兵庫
- 東工 中野富三郎 愛知
- 京工 角田 敏雄 大阪
- 京工 川勝常次郎 京都
- 東理 福田 宗一 和歌山
- 京理 和井田 統一郎 大阪
- 阪工 室田 晋次 大阪
- 阪工 吉波 幸隆 大阪
- 東工 奥 秀男 大阪
- 九農 西 義郎 大阪
- 阪醫 梅谷 秀雄 奈良
- 京工 三上 了 鳥取
- 京理 平田 俊次 大阪
- 金醫 池邊吉太郎 大阪
- 京工 藤井 隆三 兵庫
- 京工 井内 健一 徳島
- 阪工 中口 信一 兵庫
- 京工 小田 助男 大阪
- 京工 野田 二郎 大分

第六回卒業生 (昭和五年三月) 百八十四人

○文科 甲類 三十九人

- 京文 野田 又夫 大阪
- 京文 外山 軍治 徳島
- 東經 關口啓太郎 大阪
- 京法 才藤 榮 大阪
- 京文 時野谷 勝 茨城
- 神商 岡本 龍夫 京都
- 京法 奥野 義兼 奈良
- 東文 吉永 孝雄 大阪
- 東文 小高根太郎 秋田
- 東文 吉村 善夫 大阪
- 東法 澤井 種雄 大阪
- 京文 松井 武敏 和歌山
- 東文 東田 千秋 大阪
- 京文 岡本仁三郎 大阪
- 神商 伊豫 又夫 大阪
- 京法 寺西 博 大阪
- 京法 曾田 壯 高知
- 京法 山本 六郎 和歌山
- 東文 秘本 吉郎 大阪
- 京文 本城 徹照 愛媛
- 東經 伊藤 大弘 愛知
- 東文 石山 直一 大阪
- 東法 甲斐 敏雄 大阪
- 京法 三宅 文雄 兵庫
- 京文 角南 一郎 岡山
- 東經 覺前 正一 大阪
- 京法 江口 三五 愛知

- 東法 橋本 止藏 大阪
- 東法 坪野 捨男 大阪
- 京法 島 秀一 奈良

- 東經 青木 隆 大阪
- 東法 肥田 靖三 大阪
- 東法 仙石 永博 大阪

- 東北理 (舊姓角野) 小山清三郎 大阪
- 京法 金崎 忠彦 佐賀
- 京法 杉本 規矩左右 大阪

- 京經 小竹 稔 和歌山
- 京文 蛇口 三郎 東京
- 京文 藤枝 徳三 三重

○文科 乙類 三十四人

- 東法 植田 俊雄 大阪
- 京文 長谷川寅雄 兵庫
- 京法 高田 昌一 兵庫

- 東法 麓 信夫 大阪
- 東法 伊藤 武雄 大阪
- 東法 吉田 清 大阪

- 京法 中村 了 大阪
- 京法 福本芳之助 大阪
- 京法 狩野 秋夫 東京

- 東文 (舊姓澤田) 木下 五郎 大阪
- 東經 出原 保孝 大阪
- 京法 高木 幸雄 大阪

- 東法 袴谷 太郎 大阪
- 東法 中西 實 大阪
- 東文 津島 博則 岡山

- 東法 鈴木 泰彦 廣島
- 東文 今來 陸郎 大阪
- 東法 天野 高明 大分

- 東文 岡本新太郎 大阪
- 京經 黒田 清恒 兵庫
- 東文 西 寛治 和歌山

- 京法 津田 實 富山
- 京法 廣瀬英一郎 岐阜
- 京文 安齋 二郎 福島
- 東文 園 克己 大阪
- 京法 瀧川 十郎 兵庫
- 京法 兼頭 長臣 兵庫
- 京法 木村 慎吾 大阪
- 京法 椋本 修 大阪
- 東文 木村 修一 奈良
- 京經 島本貞三郎 和歌山
- 京法 都 正次 大阪
- 東經 谷村 正三 京都
- 京文 森三樹三郎 大阪

○理科 甲類 三十七人

- 東理 山崎 一雄 京都
- 北理 丹羽貴智藏 大阪
- 京工 山本 昇一 大阪
- 東理 辻本 等 大阪
- 東工 本郷 俊三 大阪
- 京工 小森 有喜 東京
- 東理 吉山 良一 鹿兒島
- 京工 橋本 英二 大阪
- 京工 西山 安三 大阪
- 京工 和氣幸太郎 東京
- 東工 飯島 十郎 群馬
- 京農 杉本 公三 大阪
- 京工 美安 和夫 兵庫
- 東工 稻垣 英吉 鳥取
- 京理 丹羽 進 大阪
- 京工 和島 友弘 鳥取
- 牧瀬 登 佐賀
- 京農 成田 恒美 兵庫

- 京工 末澤 慶忠 香川
- 東理 虎尾 正久 大阪
- 京理 伊藤 榮一 山口
- 北理 橋本 弘志 大阪
- 京理 中村 治 大阪
- 京經 中西 康人 兵庫
- 京工 吉延 陽治 岡山
- 東醫 掛見喜一郎 大阪
- 九農 上田 義靖 奈良
- 京工 宇津木 潔 滋賀
- 京工 岩井 録一 愛知
- 東北 河合 成治 東京
- 京工 近藤 義博 大阪
- 阪醫 釜洞醇太郎 岐阜
- 東北 馬場 有政 京都
- 京農 前田福太郎 大阪
- 京工 生田 鐵也 兵庫
- 京工 上井 勳 三重
- 東北 山口篤三郎 大阪

○理科 乙類 三十九人

- × 柳澤 良輔 山口
- 京醫 川越 慶三 大阪
- 京醫 滿田 久敏 熊本
- 京工 岩崎 巖 大阪
- 東理 矢村 秀雄 静岡
- 北理 三野 良信 香川
- 京理 鐵本 惇 鳥取
- 京工 中尾 好一 大阪
- 京醫 山取 要 大阪
- 京醫 田島 俊平 岡山
- 東工 菅田 豊重 奈良
- 東理 福島 好郎 兵庫

- 京工 廣瀬 三夫 奈良 岡醫 田村 勇 兵庫 京醫 中原 倭穂 三重
- 京醫 曲直部正夫 大阪 ○京工 奥村 勇 和歌山 京醫 小牧 信夫 京都
- 京醫 柴田 孝三 大阪 京醫 西山伊一郎 奈良 ○東工 松井 政男 大阪
- 京醫 小出 正視 長野 京工 梅村 光雄 大阪 阪工 茨木 正雄 大阪
- 京農 山崎 俊次 静岡 愛醫 芳野 弘夫 三重 ○京經 森 利夫 兵庫
- 京工 八木 祿郎 大阪 京醫 河野 良一 徳島 長醫 清水 忠重 大阪
- 京理 本田 耕二 岡山 ○京理 島本 一男 大阪 阪醫 赤井 正雄 和歌山
- 京理 海老瀬 浩 京都 阪醫 副島 俊榮 大阪 阪工 中川 正 大阪
- 石本富三郎 大阪 京理 今大路孝友 京都 崔炯鍊 朝鮮
- 東工 菊池 眞一 愛媛 ○東工 前田 幸夫 大阪 東工 大浦 庸夫 奈良
- 東理 裏西 久男 奈良 京工 佐々木卓夫 京都 東工 山本 博 兵庫

○理科 丙類 三十五人

- 京農 小田 勤二 大阪 京理 和田 芳夫 大阪 京理 後藤 敏 兵庫
- 京農 井上 勇 大阪 東理 佐野 節治 滋賀 京工 小仲 次郎 大阪
- 東農 淺野 昌隆 大阪 東工 佐山 整一 富山 京工 玉垣 義一 兵庫
- 東理 門脇 恒 兵庫 ○京工 佐々木眞吾 徳島 ○東工 吉原 功 徳島
- 東北工 植田 健一 大阪 京理 梶崎千代利 大阪 金醫 田仲龍太郎 大阪
- 九法文 石津 正和 福岡 阪工 服部 一郎 鳥根 阪工 城 雅宏 愛媛
- 九工 山階 正男 大阪 ○京理 清水 一郎 兵庫 ○京文 堀内 修 奈良
- 京工 村岡 貞勝 京都 京經 湯山 永保 静岡 ○東農 奥田 光吉 石川
- 京農 櫻井 史郎 愛知 ○京農 大塚 信吾 兵庫 ○京農 城山 桃夫 京都
- 京工 井上幸太郎 大阪 京理 木本 晃 廣島

第七回卒業生 (昭和六年三月) 百八十人

○文科 甲類 三十五人

東經	久保	龜夫	大阪	安	鎬	烈	朝鮮	東文	高田	千年	岡山
東文	石野	伊三雄	兵庫	神商	奧戶	武	大阪	神商	森	一郎	大阪
東法	谷口	靜夫	鳥取	東經	富山	忠雄	兵庫	東經	加藤	定雄	神奈川
京法	橋本	晴夫	大阪	東經	室	清	岡山	京法	藤間	忠顯	鳥取
京文	中村	慶造	大阪	京法	森永和三郎	壽一	大阪	東法	齋藤	裕夫	大阪
京農	貞光	俊夫	山口	京文	伊藤	壽一	京都	京文	澤井孝子郎	裕夫	大阪
	近藤	節郎	兵庫	京法	大西	正夫	兵庫	京法	熊谷	芳彦	奈良
京經	鍋島	齊一	大阪	京文	藤枝	晃	大阪	京法	岡本	熙	大分
東文	相野	忠雄	和歌山	京經	坂井	源吾	三重	東文	杉浦正一郎	昌彦	兵庫
京法	松田好治郎	好	鳥取	東經	本宮	清見	岩手	京法	江馬	春夫	京都
東文	竹内	好	東京	×	中島	一晃	愛媛	京法	矢野	昌彦	大阪
京文	中村竹次郎	兵庫	京經	田中	政雄	大阪					

○文科 乙類 三十三人

東法	藤田	久一	和歌山	京法	生島	榮治	大阪	京法	西川	英夫	大阪
東法	關口八太郎	久一	埼玉	東法	山田	鷹夫	秋田	東法	鎌田	正美	廣島
東法	友真	久衛	石川	東文	薄井	敏夫	大阪	京法	本位田	昇	岡山
東經	紅松	一雄	千葉	京文	松下	武雄	奈良	京法	横山	薰二	兵庫
東文	長野	敏一	大阪	東經	後藤	孝夫	大阪	京文	中島	榮次郎	大阪
東法	高垣金三郎	敏一	廣島	東文	服部	正己	徳島	東經	原田	運治	兵庫
×	松浦	悦郎	大阪	京經	俣野	博夫	兵庫	東文	田中	克己	大阪
京文	福田	一男	大阪	京經	川崎	菅雄	愛媛	東經	井上	樺	愛媛
東法	山本	治雄	大阪	東文	松田	明	奈良	×	鬼澤	一男	茨城
京法	大河原倫夫	治雄	岡山	京經	梅本吉之助	明	大阪	東法	丸	三郎	千葉
東文	肥下	恒夫	大阪	東文	保田與重郎	重郎	奈良	京法	田村	二郎	大阪

○理科 甲類 四十人

京工 阪本 勇	大阪	京工 榎田 修仁	滋賀	京工 佐野 一雄	大阪
京工 植田 仲司	奈良	京理 岸 春雄	京都	東工 池田 次郎	大阪
東工 鳥居光太郎	兵庫	京工 近松欽之助	大阪	東農 鳥井 秀一	大阪
京理 小寺熊三郎	兵庫	京工 兼清 隆二	大阪	東工 奥村 音造	奈良
京工 林 潔	愛知	東工 坪田 俊一	岡山	京工 染田 武男	大阪
京醫 中島鐵三郎	大阪	東工 長谷川 健	福島	東理 曾根喜一郎	大阪
東工 林 太郎	大阪	京工 川畑 勝藏	大阪	京工 川島 一夫	兵庫
東理 清水 彊	三重	東理 和田 浩	徳島	京工 小林 正三	大阪
阪醫 高橋 胖	廣島	京工 末廣 眞次	大阪	京理 對馬 三郎	東京
京工 中村 修	奈良	京工 南 定文	奈良	京工 吉田 辰雄	兵庫
京理 梅垣 嘉治	大阪	東北理 大藤謙次郎	大阪	京工 矢島 弘一	埼玉

北理 金森 祥一 大阪
 京經 増山 成夫 石川
 九法文 赤井 信一 福岡

粟谷 清 大阪
 東工 山上 秀雄 大阪

京理 雄崎市三郎 大阪
 岡醫 森本 信雄 和歌山

○理科 乙類 三十五人

京醫 三木 利雄	兵庫	東工 岩尾 丈夫	兵庫	岡醫 澤 敏彰	鳥取
京醫 小林 登	大阪	京醫 田原 狷介	佐賀	京工 内田 英成	長野
京工 仁田 工吉	兵庫	東理 須藤 良一	大阪	京醫 潮田 康一	大阪
京工 寺田 信二	大阪	東醫 吉田 正雄	岡山	京理 仲田 幸男	大阪
京醫 川畑 高	鹿児島	京農 山本 行常	京都	京工 ^(舊姓小森) 森本 佐一	大阪
京都醫 吉田 太郎	兵庫	京醫 湖東榮治郎	大阪	京醫 松本健次郎	大阪
京農 松村 清二	京都	京理 五百井 仁	大阪	東北醫 佐谷 正輝	福岡
愛醫 石川 宗一	奈良	東醫 淺野 建夫	大阪	京醫 重松 典雄	大阪

卒業生

京醫 合田 太郎 大阪
京醫 塚田 守人 大阪
京醫 稻葉 孝男 岡山

京工 植村 豊 兵庫
東北醫 前田 幸作 兵庫
× 佐藤 芳雄 千葉

九醫 森 良雄 大阪
土屋 健三 和歌山
神商 中村 忠夫 香川

森本健之介 奈良
京理 中村 有一 香川

○理科

京工 本郷 弋良 大阪
京工 河田 明雄 香川
京工 粟津 清 大阪

平井 篤造 大阪
東工 福岡 慶一 香川
京理 田原口長久 奈良

東工 南 武男 兵庫
東農 池田 博 大阪
阪工 内藤 雅喜 東京

北農 三浦 脩 大阪
北農 後藤 春利 大阪
京工 山中貴久男 大阪

東北理 谷 久也 東京
岡醫 中井 周一 大阪
京工 小中 義城 奈良

九工 佐伯 一郎 長崎
京工 田島 勇夫 大阪
京理 寺元 俊一 新潟

京理 浦田 清一 大阪
阪工 樋口 英俊 大阪
京理 寺島 隆男 京都

丙類

三十七人

一五四

第八回卒業生 (昭和七年三月) 百三十七人

○文科

甲類

二十五人

東法 石野 信一 石川
東法 生垣 齊 兵庫
東法 神崎 勝成 大阪

京法 井上 圓三 大阪
東法 吉行市太郎 大阪
東法 讚岐 喜八 大阪

東法 土岐 秀一 大分
京法 松田 正 大阪
東經 神先 秀雄 大阪

卒業生

一五五

京工 江見正太郎 岡山
阪醫 中谷 信之 大阪
東農 阿部 良彦 大阪

阪工 村山 清 新潟
北農 西尾 新六 兵庫
池田 重己 和歌山

阪工 巽 孟 和歌山
京農 麻生 憲之 三重
東工 倭 周藏 大阪

九工 能勢 正元 鳥取
阪工 龜山 猶一 岡山
京文 澤田 昌夫 大阪

阪工 多田 太郎 香川
京農 大堀 佐一 千葉
京理 後藤 彦祐 大阪

卒業生

一五六

京法	上田	明信	奈良	東法	玉川	惠二郎	和歌山	京文	土井	圓明	愛知
京經	村山	治雄	大阪	京法	宮本	重義	大阪	東法	鶴見	俊明	東京
東文	丸山	正三郎	長野	京法	北村	春雄	神奈川	京經	村田	克己	兵庫
東法	竹田	誠伍	大阪	東法	磯崎	良譽	香川	京經	豊田	久男	大阪
京法	服部	春泉	大阪	東文	大屋	篤	大阪	東法	辰巳	岩雄	奈良
京文	政岡	安忠	兵庫								

○文科 乙類 二十六人

東法	笹川	武信	富山	東經	羽野	堅二	大阪	東經	三崎	浩二	兵庫
京法	原出	文一	大阪	東文	廣中	一郎	大阪	京文	澤田	直也	大阪
東法	三浦	信晴	滋賀		遠藤	清	大阪	東法	竹井	眞	岡山
京法	中西	秀雄	大阪	京文	石崎	甚八	岐阜	京法	白井	三郎	東京
東法	辻	政雄	大阪	京法	杉野	祐二郎	東京	京經	孝橋	正一	兵庫

京法	脇田	威	兵庫	京法	已浪	修	奈良	東法	杉浦	宜雄	愛知
京經	尾上	忠雄	兵庫	東法	岩崎	功	大阪	京法	辻本	美久	奈良
京經	中田	英一	大阪	東經	豊田	親三	東京	京經	脇阪	榮一	大阪

○理科 甲類 三十五人

東工	柴田	健三	大阪	京醫	坂口	正一	奈良	京工	本庄	武重	大阪
東工	中村	治光	兵庫	東工	佃	豊之	兵庫	京工	吉野	弘	兵庫
京醫	梶	利一	大阪	京工	澤田	忠治郎	大阪	阪工	藤田	英夫	大阪
京工	藤森	金三	大阪	東工	岸岡	英太郎	大阪	東工	金澤	俊三	和歌山
東工	阪倉	康男	兵庫	京工	梅本	忠夫	大阪	京工	田村	誠一	岡山
	佐川	治男	大阪	東工	松田	種光	兵庫	東理	多田	政一	大阪
阪醫	松村	三郎	奈良	京工	松本	文忠	愛媛	京工	山本	彌太郎	和歌山

卒業生

一五七

京工	勝田	義文	奈良	京工	小寺	正曉	大阪	京工	吉田	好文	愛知
東工	大越	善彦	栃木	京工	久枝惣二郎	大阪	京理	市村	直文	大阪	
東理	青木	清	大阪	京工	高木	正	滋賀	京理	青山	正文	大阪
阪工	小笹	晃	京都	京工	木津	英雄	三重	京工	横關	敏雄	香川
東農	高柳	正幸	長崎	京理	川北	四郎	静岡				

○理科 乙類 二十七人

京醫	稻垣	惠	和歌山	東理	淺野	芳廣	大阪	京醫	下田	公夫	兵庫
阪醫	緒方	誠一	兵庫	京醫	栗栖	五仁	島根	京工	橋本	正二	滋賀
京醫	吉田	二郎	兵庫	京醫	鈴木	玄二	山口	京醫	伊藤	賀祐	愛媛
阪醫	米田	明正	奈良	阪醫	吉村	正二	大阪		佐藤	文六	福島
阪醫	日下	幸男	岡山	京醫	久保	節男	和歌山		菅	祝四郎	大阪
阪醫	橋本	孜	廣島	京工	西野	利夫	大阪	阪醫	伊賀井清一	大阪	

九醫	出崎	利次	大阪	平田	英夫	滋賀	岡醫	中村	泰	大阪	
	猿山	義雄	大阪	東理	木下	治雄	大阪		吉村	良男	奈良
京理	近藤	新吉	大阪	東工	米谷	利治	兵庫		先川	俊介	大阪

○理科 丙類 二十四人

東理	津村	善郎	和歌山	京工	植田	輝一	山口	阪工	市橋	虎彦	兵庫
京醫	山本	正雄	和歌山	阪理	緒方	惟一	熊本	京醫	木野貞一郎	奈良	
東工	大野	祐武	秋田	京工	殿井不二雄	大阪	東農	鶴谷	又好	兵庫	
京工	高田	昇平	岡山		清水	光男	岡山	阪醫	乾	良夫	和歌山
阪工	中井	孝夫	愛媛	東農	緒方	清八	兵庫	東工	松本	嘉雄	大阪
京農	落合	勝三	大阪	京理	青木	滋一	奈良	京理	辻部	三郎	大阪
京理	松本	律男	兵庫	東工	後藤	博	廣島		藤原	巖	兵庫
東農	飯田四三九	大阪		東農	柏原	榮	京都	阪工	實寶	靖男	和歌山

第九回卒業生 (昭和八年三月) 百七十二人

○文科甲類 三十一人

- 東法 播磨 俊雄 徳島 東法 私市 信夫 大阪 東法 正野 虎雄 新潟
- 東文 米田 一彦 大阪 東法 大谷 正夫 福島 京文 田中 由之 大阪
- 京文 中山 勝治 富山 東法 奥田 孝 大阪 東文 高井 勳 大阪
- 東法 鐵谷 米次 大阪 東法 宮川新一郎 滋賀 西野 忠夫 大阪
- 京法 安村 正義 京都 京法 室谷 明 大阪 東法 西尾 善作 大阪
- 東文 小野 壽人 兵庫 東文 早川 敏一 大阪 東法 矢野宏太郎 愛媛
- 東法 佐藤 篤輔 宮城 京文 安良 曉一 大阪 京法 金山 應外 富山
- 東經 相馬 一郎 大阪 京文 吉田 七郎 大阪 京法 齋藤 孝彦 福井
- 三島 中 廣島 東文 小山正比子 兵庫 京法 西田 敬一 大阪

- 京經 丸川 良藏 大阪 京文 坂口 允男 奈良 京法 杉原 優 廣島
- 京法 藤河 常一 京都

○文科乙類 三十五人

- 東法 神林 幸次 兵庫 東法 山口 昇 大阪 東法 莊 宏 茨城
- 京法 佐藤 亮三 秋田 京文 久保 慧蓮 香川 東法 小卷 榮三 京都
- 京法 今西 安正 大阪 東法 宮田 義人 長野 京經 清水 顯次 大阪
- 京文 野間 三郎 兵庫 東經 大道 滿夫 京都 京文 鹿嶋 正二 大阪
- 京文 永谷 孝治 大阪 東經 末永 茂樹 山口 東文 深川 恒喜 大阪
- 東法 奥 亨 和歌山 京法 青木 康次 大阪 東法 足立 護 兵庫
- 京法 太田 貞男 大阪 京法 大井 正一 大阪 九法文 江島孝太郎 福岡
- 京法 横幕 胤行 岐阜 辰巳 能 奈良 京法 松岡 國雄 兵庫
- 京文 真柄 捨三 福井 京法 伊東 大藏 福井 京法 森 勇夫 兵庫

京文 幸田 芳雄 大阪 神商 松本 修三 兵庫 京文 小田 一郎 大阪
 京法 渡邊 英雄 大阪 京法 林 利三郎 福井 東法 中前 俊郎 兵庫
 京法 荒尾 衛 和歌山 東文 須具 勇 山形

○理科 甲類 三十七人

京工 大森 武司 兵庫 東工 種田 芳男 愛知 京工 富永 五清 大阪
 京理 白井 爲治 大阪 京工 千葉 恒信 香川 東工 三栖正二三 和歌山
 阪工 藤 季俊 大阪 東工 平松 茂男 大阪 長岡 久 兵庫
 阪工 名村 二雄 大阪 島津 大介 大阪 京工 大塚 清 大阪
 京工 大西專太郎 香川 朝山 章次 和歌山 京工 入江 喜一 富山
 京農 福井 芳朗 岡山 岩切 章 宮崎 三好 宗逸 大阪
 阪工 高岡 勇 福井 黒岩 芳郎 高知 阪工 林 六男 大阪
 京工 西田 清 大阪 高島 二三 兵庫 九工 薄 美英 福岡

東理 吉田 貞次 大阪 齋藤 隆 山形 阪工 德永 敏一 大阪
 阪工 景山 濟美 岡山 阪醫 西田 菊馬 福井 京理 藤井 了堅 大阪
 宮武 克美 香川 阪理 浦山 彌藏 大阪 河合 敦夫 大阪
 京工 小林 茂夫 東京 京工 石川 陽夫 京都 阪工 池田 郁藏 大阪
 阪工 石原 定成 京都

○理科 乙類 三十六人

京醫 藤田 忠夫 大阪 東工 石井 義郎 三重 阪醫 北川 睦男 廣島
 阪醫 正富 季雄 岡山 柴谷 芳雄 大阪 菅 邦夫 大阪
 東醫 尾崎 巖 大阪 京工 山田 道生 福岡 阪醫 梶本 政治 大阪
 京醫 富澤 貞造 石川 京醫 荒木 元秋 大阪 京醫 山田 正治 大阪
 溝口 輝彦 大分 阪醫 堀居 正節 滋賀 京醫 奥野 舜亮 奈良
 京醫 森下 哲也 大阪 阪醫 友國 說郎 兵庫 京醫 東田 敏夫 大阪

豊川 行平	兵庫	阪醫 辻	旺之	兵庫	中野 正二	兵庫
楫西 貞雄	大阪	阪理 津村	隆	福岡	棚橋 秀徳	岐阜
高岡 美郎	兵庫	杉山 一	三重		山内 二郎	徳島
京經 出崎 洲二	廣島	阪醫 久保健太郎	和歌山		京理 池田 節	岡山
京工 平田 八郎	大阪	中西 武雄	三重		堀口 勇藏	滋賀
京農 小野田 潔	大阪	阪醫 末松 昌一	大阪		京農 立野 恒夫	大阪
東工 篠原 資八	兵庫	京農 渡部 牧	新潟		京醫 小守 正二	滋賀
阪醫 横繩 俊夫	和歌山	宮下 博夫	大阪		永井 敏夫	大阪
村長 潔	大阪	阪工 中尾 武	大阪		東農 福井 重郎	大阪
東北理 長崎 彰	香川	京理 佐野 宣慶	大阪		京工 清水 治郎	大阪
阪工 高木 茂	山形	松田 有明	大阪		三浦 治	香川

理科丙類 三十三人

京農 高橋 清興	大阪	神商 矢野 四郎	京都	京理 益田 宣	大阪
奥津喜久雄	大分	京醫 西村 潤	兵庫	山田 順	静岡
寺島一三郎	東京	京理 池田 茂	兵庫	大上 昌也	兵庫
阪理 中村 章	和歌山	橋本 眞治	大阪	京農 筒井喜代治	兵庫
岡野 和夫	京都	京農 柏原 正治	大阪	阪工 日下部春一	兵庫
京農 原田 重雄	山口	阪理 鷺見 慎一	福岡	清水 信男	大阪

二、卒業生各年科別表

種目	卒業年次			科			合計
	甲類	乙類	計	甲類	乙類	丙類	
大正十四年	三一	三四	六六	三一	二四	二一	七六
大正十五年	三七	三六	七三	三七	三四	三五	一〇六
昭和二年	三八	三三	七一	三八	三二	三〇	一〇〇
昭和三年	三五	三七	七二	三八	三八	三一	一〇六
合計	一一一	一〇七	二一八	一一一	一〇八	一〇七	三二六

京 都 帝 國						帝 國 大 學					
理 學 部	工 學 部	醫 學 部	經 濟 學 部	文 學 部	法 學 部	計	農 學 部	理 學 部	工 學 部	醫 學 部	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三三	二二	一一	支支	七七	一四	五五	二二	二二	九九	四四	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
七七	三三	一一	八八	八八	支支	六六	四四	三三	五五	九九	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
一一	三三	一一	三三	四四	二二	五五	五五	三三	五五	四四	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
朝朝	二二	一一	二二	二二	二二	五五	三三	四四	一一	四四	
一七	二六	一五	二二	二二	二二	五五	三三	四四	一一	四四	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
一〇	二六	一八	三三	七七	一四	朝朝	朝朝	四四	八八	一一	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
五二	二四	一一	四六	九三	一八	三五	二二	六九	七〇	一一	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
一三	二八	一三	七	九	一六	五〇	三	四	一一	二	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
七	二〇	一一	七	四	一三	四五	四	五	一二		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
六	一三	九	三	一二	一九	三六	一	一	五	一	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
朝朝	一五	一六	支支	四七	支支	朝朝	朝朝	二二	四八	二二	
四四	三〇	三〇	支支	四七	支支	一〇	一六	一八	七〇	四八	

三、卒業生大學進入表

(昭和八年六月十五日調)

京 東	區 分		計
	法 學 部	文 學 部	
法 學 部	二六	二六	五二
文 學 部	八八	一一	九九
計	一一四	三三	一四七

備考	合 計	昭 和 年 代				
		昭 和 八 年	昭 和 七 年	昭 和 六 年	昭 和 五 年	昭 和 四 年
支ハ支那人、朝ハ朝鮮人、臺ハ臺灣人ニシテ内數ナリ	三〇四	三一	二五	朝三五	三九	三二
	三〇一	三五	二六	三三	三四	三三
	六〇五	六六	五一	朝六八	七三	六五
	三一九	三七	三五	四〇	三七	台朝三一六
	三〇五	三六	二七	三五	朝三九	朝四〇
	二八一	三三	二四	三七	三五	三六
	九一五	一〇六	八六	一一二	朝一一	台朝一一二
	一七二					
	一七二					
	一七二					

總計	死	未定	其他	京都府立醫科大學	京城帝國大學法文學部	廣島文理科大學
〇〇〇〇	七	二	一			
〇〇〇〇	九	支一八				
〇〇〇〇	八	一〇				
〇〇〇〇	五	六				
〇〇〇〇	四	四	一	一		
〇〇〇〇	三	朝一五				
〇〇〇〇	四	七			朝一	
〇〇〇〇		一二				
〇〇〇〇		三五	一			
〇〇〇〇						
〇〇〇〇	四〇	八	三		朝一	

備考

- 一、支ハ支那人、朝ハ朝鮮人、臺ハ臺灣人ニシテ内數ナリ
- 二、〇印ハ大學卒業生ニシテ内數ナリ
- 三、大阪帝國大學工學部昭和三年欄二名ノ内一名及同學部昭和四年欄二名ハ元大阪工業大學ノ卒業ニ係ルモノナリ

◇敷地及建物

一、敷地調表

用途別區分		坪數	資金價格	所在地	備考
樹木	校舍敷地	二、七二、 ^坪	七〇〇	大阪市住吉區王子町三丁目	大正十三年十月九日文部省ヨリ引繼
運動場敷地	運動場敷地	四、八四三、二九	四二七、七五四〇	同	昭和四年十月八日文部省ヨリ引繼
寄宿舎敷地	寄宿舎敷地	二、五三、		同	同
官舎敷地	官舎敷地	一六〇、	七八、四二九二〇	同	昭和六年三月廿三日購入
學校敷地	學校敷地	一四七、六二		同	
運動場敷地	運動場敷地	一、九〇、七三		大阪市住吉區南町西四丁目	

計	官舎敷地	官舎敷地	計
二、四〇四、六四	一六三、	五〇〇、	六六三、
四九六、二六〇	八、一五〇〇	二五、〇〇〇〇	三三、一五〇〇
	大阪住吉區阪南町西五丁目	大阪住吉區播磨町東一丁目	
	(昭和二年一月十二日購入 備外國人官舎一棟分敷地)	(昭和二年九月二日購入 生徒監甲號官舎一棟並備外國 人教師官舎二棟分敷地)	
一三、〇六七、四			五九、四二六〇
合計			合計

一、建物一覽表

番号 建物 敷地	本館									建物名稱	棟數	構造	坪數		資金價格	建設年月日	現在用途
	9	8	7	6	5	4	3	2	1				建坪	延坪			
	寄	同	同	渡	便	小	高	講	本	本館(教室、事務室、實驗室等)	一	鐵筋コンクリート造三階建	四六三、三八九	三七四、三四一	四六二	大正十一年三月十八日	書庫ハ教育會堂並會議室ニ使用
	宿			廊	所	使	廊	堂	館	生徒控所	一	同	八	一六	四、五〇〇〇〇	同	
	舍			下		室	下	書	(庫	一	同	二五	二五	五、一六七八五	同	
	六	一	一	一	一	一	一	階	實		一	同	二〇	二〇	六、三五〇〇〇	同	
	二	同	同	平	鐵	平	同	階	驗		一	同	二六	二六	三、〇〇六二五	同	
	同	同	同	木	筋	木	同	建	室		一	同	四	四	四六二五〇〇	同	
	階			家	造	家		造	等)		一	同	二	二	二二二五〇	同	
	建			建	建	建		建			一	同	四	四	四六二五〇〇	同	
	四			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	八			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	八			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	八			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	九			建	建	建		建			一	同	二	二	二二二五〇	同	
	二			造	造	造		造									

等		舍				宿					
33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22
蓄電池室	物置及洗面所	同	同	渡廊下	硫化水素室	生徒集會所	雨天體操場	柔劍道場	寄宿舍 炊夫用便所	唧筒室	同上
一 同	一 同	一 同	一 同	一 同	一 同	一 同	一 同	一 同	一 同	一 同	四 同
二八	一〇〇	二	一	一	六	七〇	二〇	八四	五、一	五、一	二〇
二八	一〇〇	二	一	一	六	七〇	二〇	八四	五、一	五、一	二〇
四、一八六五〇〇	一六、〇三五〇〇	三四、一五四〇	一八〇四六〇	一八八〇〇〇	一、八六三二〇	一六、一七〇〇〇	一七、三八〇〇〇	一六、五八六〇〇	四〇四九五〇	四九八六九〇	三、一八三四〇
同	同	同	同	大正十三年 十月三十日	同	同	大正十三年 三月二十日	大正十二年 七月三日	大正十二年 六月三日	大正十一年 六月十八日	同

寄		及									
21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10
同上	同上	同上	同上	同渡廊下	同便所	同物置	同 炊事、浴室	同昇降口	同病室	同舍監室	同事務室
一 同	一 同	四 同	一 同	四 同	四 同	一 同	一 同	四 同	一 同	一 同	一 同
四	五、九	二〇	五	三〇	二四	二	一六〇	三	一五	二八	四、七
四	五、九	二〇	五	三〇	二四	二	一六〇	三	一五	二八	九、五
六二八〇〇	一、四〇二九〇	二、四六五九〇	六二四八〇	四、三七七八〇	八、三三八八〇	二、八〇九一七〇	一七、九〇九二五〇	一、九五二〇〇	二、六九七三〇	六、三五四〇〇	二、八四七五八〇
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

1	計	(一) 官舎			計	39	38	37	36	35	34
		3	2	1							
官甲號生徒監舎		同	同	官乙號生徒監舎	洗面所等	脱衣室、浴室	銃器室	自動車車庫	弓道道場	植物培養室	藥品庫
一		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二木階建造		同	同	二木階建造	同	同	同	同	平木家建造	平煉瓦木家建造	平煉瓦家建造
三	三	三	三	三	一、九八三、〇六	一、一六三、三	三〇	六	一、七五	一〇	五
二五	二五	二五	二五	二五	一、九八三、五二三	一、一六三、三	三〇	六	一、七五	一〇	五
八、五七六〇	一五、一六三三〇	五、〇五三、四四〇	五、〇五三、四四〇	五、〇五三、四四〇	七、四三、三九八、〇〇七	一、六四六、九七〇	三、二九六、七六〇	二、八〇一、五〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	二、六四四、〇〇〇	二、二九二、二〇〇
大正十四年五月十五日		同	同	大正十三年九月十日		昭和四年九月二十日	昭和四年三月二十日	昭和三年十一月十五日	昭和三年十月十五日	大正十四年一月二十日	大正十三年三月二十日
						大阪高等學校父兄會ヨリ寄附受領			校友會ヨリ寄附受領		

合	計	(二) 官舎						
		8	7	6	5	4	3	2
		同物置	官備外國人教師舎	同物置	官備外國人教師舎	同物置	官備外國人教師舎	同物置
		一	一	一	一	一	一	一
		平同家建	二同階建	平同家建	二同階建	平同家建	二同階建	平同家建
		二	二	二	二	二	二	三
		二、一七四、三八二	二、二七五、二七五	二、二七五、二七五	二、二七五、二七五	二、二七五、二七五	二、二七五、二七五	三、三三九、三三九
		七、八一、〇八九、四七七	三、五三二、一五〇	二、一七〇、〇〇〇	七、四二六、四二〇	二、一四〇、〇〇〇	七、四四二、〇〇〇	一、八六〇、〇〇〇
		同	昭和二年三月廿五日	同	同	同	同	同

三、建物用途別一覽表

計	物理學							用途別	構造	室數	延坪數	學生徒收容限度	備考
	物理蓄電池室	物理準備室	物理講義室	物理天秤室	物理器械室	物理光學室	物理實驗室						
八	一	一	一	一	一	一	一	鐵筋コンクリート造	一	二〇〇〇	四五〇〇	三〇	
一八五〇〇	一八〇〇	一二〇〇	三〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	六四		一部物理工作室ニ充當ス				

動植物	計	化學								用途別	構造	室數	延坪數	學生徒收容限度	備考	
		化學藥品庫	化學元素室	化學準備室	化學講義室	化學實驗室	化學器械室	化學實驗室	化學天秤室							化學教官室
同	九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
同	一五八〇〇	五〇〇	六〇〇	一二〇〇	三〇〇〇	四五〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	一四〇〇	六二二	六三〇	一四〇〇	六二二	一四〇〇	
同	六二二				六四	四八										

通											
講堂	生徒控室	食堂	書庫	便所	應接室	巡視室	廊下	圖書閱覽室	小使室	渡廊下	唧筒室
同	同	同	同	同	同	同	同	同	平木家建造	同	同
一	一	一	一	一	一	一	一	一	二		一
一一〇五〇	七六五〇	三四〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	三九三〇〇	三九〇〇〇	二五〇〇〇	三六〇〇〇	一五六〇〇
八〇〇											
内一部教官圖書閱覽室並書庫ニ充當ス		會議室兼用					一部書庫ニ充當ス		内一室ハ職員宿直室ニ充當ス		

共	事務室	普通教室	計	銃器室	計	科學書圖		計	質鐵物地標本室	計	科學物	
						自在書教室	製圖教室				植物培養室	動植物講義室
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
九	一五	一	一	三	二	一	一	一	五	一	一	一
一六六〇〇	三〇四〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	八五〇〇	四〇〇〇	四五〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	一一五〇〇	一〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇
	六三〇				四五	八五						四二
								教官室兼用				

其				計	舍				宿		
官	官	官	官		昇降口	渡廊下	便所	物置	炊事場	浴室	食堂
舍同	舍同	舍同	舍 <small>二木階建造</small>		同	同	同	同	同	同	
一〇	七	七	七	一五一	四		五	一	四	一	
五一二五	三〇七五	三〇七五	三〇七五	一、二七三〇〇	一二〇〇	八八五〇	二五五〇	二二〇〇	四五〇〇	三〇〇〇	
										二五〇	
甲號生徒監官舍	同	同	乙號生徒監官舍							現在二〇四名收容	
	3	2	1								

寄				計	敷地及建物							
病室	舍監室	事務室	宿舍		洗面所等	更衣室、浴室	自動車庫	弓道道場	物置及洗面所	生徒集會所	雨天體操場	柔劍道場
同	平木家建造	同	二木階建造		同	同	平木家建造	同	同	同	同	
三	六	六	一二〇	五五	五	一	一	四	七	一	一	
一五〇〇	二八〇〇	九五〇〇	八二八〇〇	一、六四七五六	一六三〇	六〇〇	一五七〇	一〇〇〇〇	七〇〇〇	一二〇〇〇	八四〇〇	
八〇〇			二四〇									
內一階		會室	廊下ヲ含ム現在二〇四名收容		水泳場附屬建物							



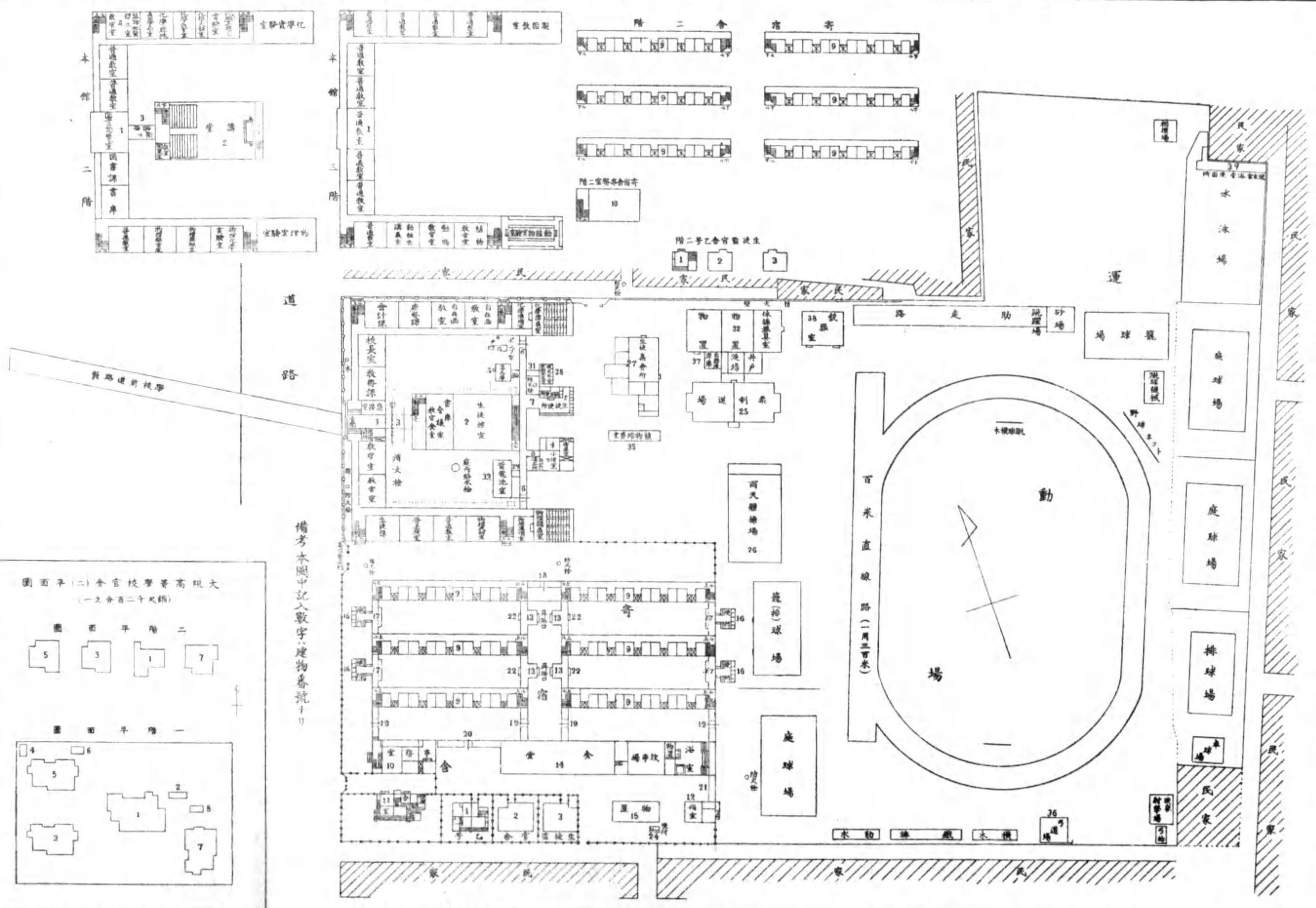
合計	計	他					
		物置	官舍	物置	官舍	物置	官舍
二九二	五九	平木家建造	二木階建造	平木家建造	二木階建造	平木家建造	二木階建造
三、七八五三一	二七一七五	一	八	一	八	一	八
		二〇〇	三九七五	二〇〇	三九七五	二〇〇	三九七五
		同	同	同	同	同	備外國人教師官舍
							同



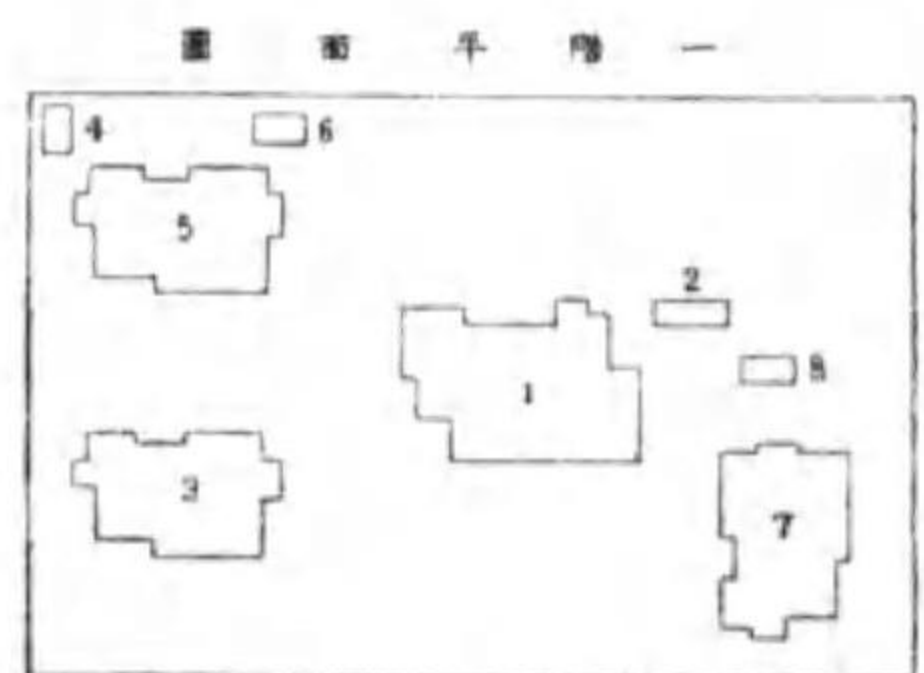
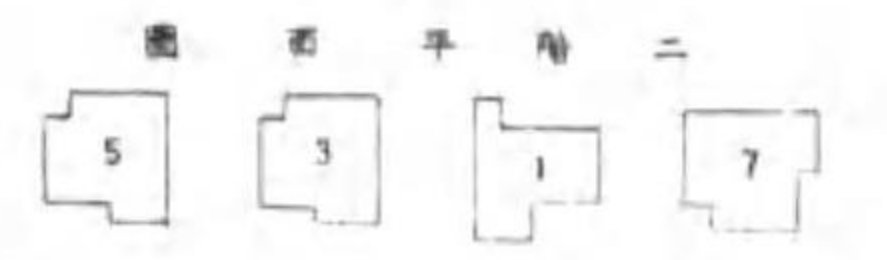
大阪高等學校略圖

(縮尺二百一十分之一)

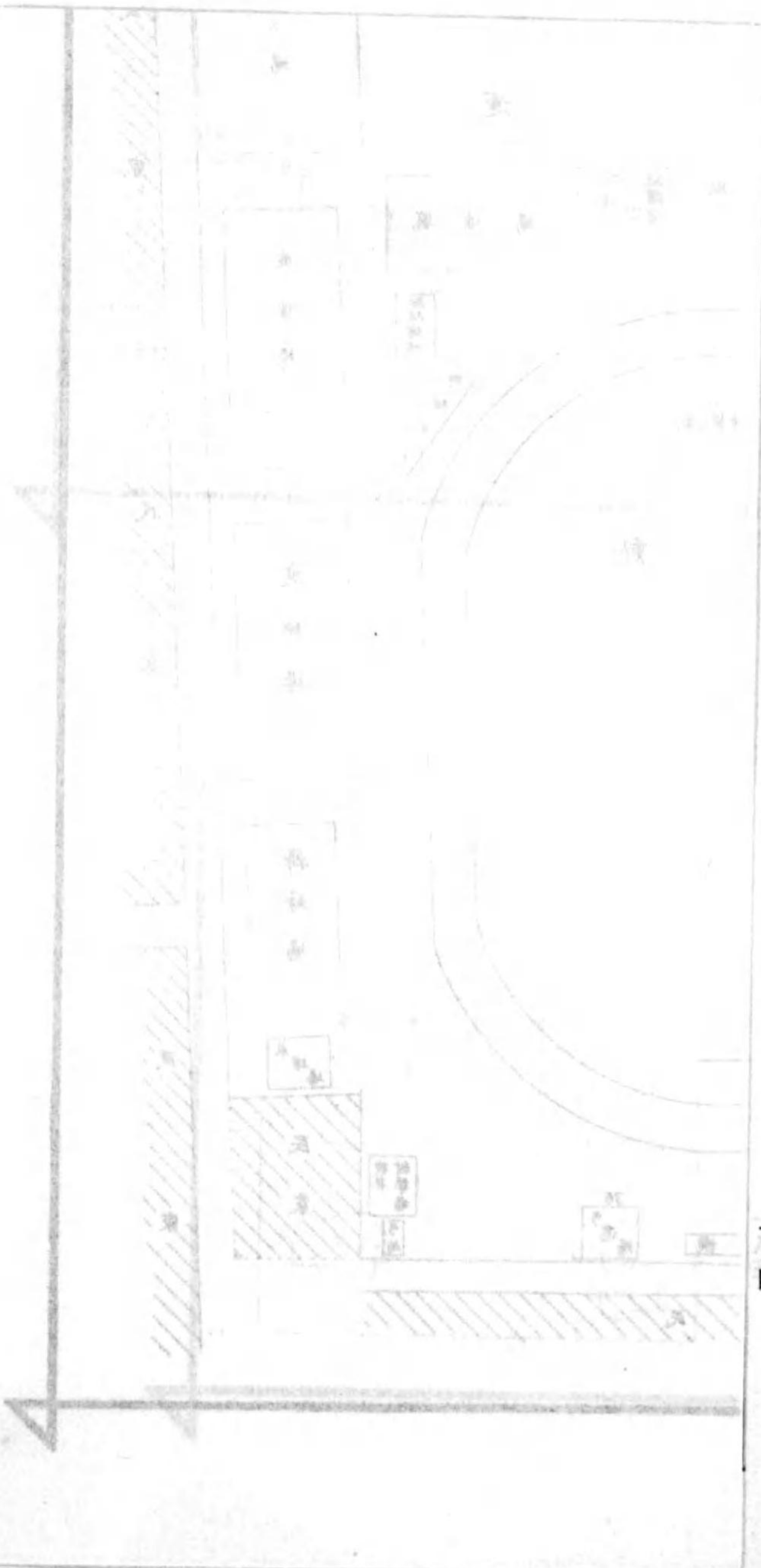
昭和八年七月現在



大阪高等學校各官圖面 (二) (縮尺二百一十分之一)



備考本圖中記入數字、建物番號ナリ



◇ 附 錄

一、大阪高等學校校友會規則

第一條 本會ハ大阪高等學校校友會ト稱ス

第二條 本會ハ左ノ二種ノ會員ヲ以テ組織ス

一 特別會員 本校職員

二 通常會員 本校生徒

第三條 本會ノ目的ハ本校ノ教養ト相俟チ心身ヲ練磨シ會員相互ノ親睦ヲ厚ウシ以テ校風ヲ發揚スルニアリ

第四條 前條ノ目的ヲ達センカ爲メ本會ニ左ノ諸部ヲ置ク

一 學 藝 部

一 辯 論 部

附 錄

- 一 音 樂 部
- 一 野 球 部
- 一 庭 球 部
- 一 卓 球 部
- 一 蹴 球 部
- 一 競 技 部
- 一 排 球 部
- 一 籃 球 部
- 一 端 艇 部
- 一 水 泳 部
- 一 劍 道 部
- 一 柔 道 部
- 一 弓 道 部

一 相 撲 部

一 旅 行 部

一 乘 馬 部

第五條 通常會員ハ各部ノ部員タルコトヲ得

第六條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一 會長一名校長ヲ推戴ス
- 一 副會長一名特別會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス
- 一 部長各部一名特別會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス
- 一 事務員若干名特別會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス
- 一 理事文理科ヨリ一名宛其ノ科通常會員ノ互選ニ依ル候補者中會長之ヲ委囑ス但シ理事ハ委員ヲ兼ヌルコトヲ得ス
- 一 委員各部若干名各部員ノ互選ニ依ル候補者中會長之ヲ委囑ス
- 一 級總代若干名各組ヨリ一名

但シ當該級總代ハ委員ヲ兼ヌルヲ得ス

第七條 役員ノ任務左ノ如シ

- 一 會長ハ會務ヲ總理ス
 - 一 副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス
 - 一 部長ハ其ノ部ノ事務ヲ監督ス
 - 一 事務員ハ本會ノ庶務及會計ニ關スル事務ニ従事ス
 - 一 理事ハ會長ニ屬シ本會ノ總務ニ従事ス
 - 一 委員ハ其ノ部ノ事務ニ従事ス
 - 一 級總代ハ其ノ級ヲ代表シテ會務ニ關スル議事ニ參與ス
- 第八條 理事、委員ノ任期ハ一ケ年トシ毎年十二月之ヲ改選ス
- 第九條 役員會ハ左ノ役員ヲ以テ組織シ會長之ヲ召集ス
- 一 會 長
 - 一 副 會 長

一 部 長

一 事 務 員

一 理 事

一 各 部 委 員 一 名

一 級 總 代

第十條 役員會ハ役員總數ノ三分ノ二以上出席スルニアラサレハ議事ヲ開クコトヲ得ス

第十一條 役員會ノ議事ハ過半数ヲ以テ之ヲ決ス

但シ特別會員ハ表決ノ數ニ加ハラズ

第十二條 役員會ニ於テハ左ノ事項ヲ行フ

- 一 豫算ノ議決及決算ノ承認
- 一 其ノ他重要ナル事項ノ議決

第十三條 役員會ノ決議事項ハ會長ノ認可ヲ經テ効力ヲ生スルモノトス